

緑蔭書房

各種資料集のご案内

2026.1

掲載資料一覧

在日朝鮮人史研究／朝鮮史研究会論文集	1
朝鮮史研究会会報	2
在日朝鮮人資料叢書	3
関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料	8
戦前朝鮮人関係警察資料集	9
資料雑誌にみる近代日本の朝鮮認識／資料新聞社説に見る朝鮮	10
戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集／戦時下強制連行極秘資料集(東日本篇)	11
*韓国・朝鮮・在日朝鮮人関係資料	12
近代朝鮮文学日本語作品集	13
近代日本のアジア認識	14
「満洲国」の研究	15
「満州」植民地日本語教科書集成	16
「満州」植民地中国人用教科書集成	17
日本統治期台湾文学日本人作家作品集	18
日本統治期台湾文学台湾人作家作品集	19
日本統治期台湾文学文芸評論集	20
日本統治期台湾文学集成	21
鷺巣敦哉著作集	22

ル・ジャンドル台湾紀行	23
*台湾関係資料	24
日本植民地文化運動資料	25
興亜教育	26
鑑賞文選・綴方讀本	27
特別支援・特別ニーズ教育の源流	28
*教育関係資料	29
「陸軍成規類聚」資料集成	30
陸軍軍法会議判例集	32
二・二六事件裁判原本資料	33
太平洋戦争メディア資料	34
太平洋戦争放送宣伝資料／同盟旬報目次総覧	35
昭和六・七年事変海軍戦史／太平洋戦争開戦前史／オーストラリア国立戦争記念館所蔵旧陸海軍資料目録	36
BC級戦犯関係資料集	37
原水爆禁止運動資料集	38
賀川ハル史料集	39
賀川豊彦関係史料双書	40
大日本消防協会雑誌	41
日本報徳運動雑誌集成	42
*その他既刊資料	43
*書名索引	48

朝鮮・韓国人と日本人研究者の共同研究の成果！

在日朝鮮人史研究

全四巻[創刊号～第20号]

在日朝鮮人運動史研究会編 ■本体70,000円(A5判・上製クロス装・総2,750頁) 978-4-89774-231-1

全4巻の収録内容

- I 創刊号(一九七七年)～第5号(一九七九年)
II 第6号(一九八〇年)～第10号(一九八二年)
III 第11号(一九八三年)～第15号(一九八五年)
IV 第16号(一九八六年)～第20号(一九九〇年)

■最新号(二〇二四年一〇月現在)は、第54号。 ▼年1回・10月刊 ▼本体2,400円 ▼第21号～27号、第36号は品切れ

研究者の要望に応え、品切れのバックナンバーを合本にして復刻！

朝鮮史研究会論文集 全八巻[第1集～第30集]

朝鮮史研究会編 ■本体150,000円(A5判・上製クロス装・総6,500頁) 978-4-89774-214-4

- 【第一巻】総796頁 本体20,000円
第1集 第二回大会特集号
第2集 青山公亮博士古稀記念号
第3集 朝鮮社会の歴史的發展
第4集 日朝関係の史的再検討
【第二巻】総726頁 本体20,000円
第5集 朝鮮と帝国主義
第6集 明治百年と朝鮮
第7集 近代東アジアにおける日朝関係
第8集 朝鮮史における土地問題と農民運動
【第三巻】総756頁 本体20,000円
第9集 朝鮮思想史の課題
第10集 朝鮮の民族運動と歴史的條件
第11集 古代朝鮮と日本
【第四巻】総746頁 本体20,000円
第12集 近代朝鮮と日本帝国主義
第13集 朝鮮史における国家と民衆
第14集 朝鮮民族運動の諸段階
第15集 朝鮮史認識の展開
第16集 朝鮮史発展と国際的契機
【第五巻】総914頁 本体20,000円
第17集 二十周年記念大会特集号
第18集 李朝史の諸問題
第19集 朝鮮の社会と思想
第20集 植民地下民衆の生活と戦い
【第六巻】総972頁 本体20,000円
第21集 東アジアにおける朝鮮史の展開
第22集 甲申政変一〇〇年
【第七巻】総820頁 本体15,000円
第23集 東アジアにおける日本と朝鮮
第24集 朝鮮古代史の争点
【第八巻】総752頁 本体15,000円
第25集 朝鮮史における国家と民族
第26集 朝鮮における近代認識の諸相
第27集 近代移行期朝鮮の国家と社会
【第九巻】総820頁 本体15,000円
第28集 近代朝鮮の対外関係と民族運動
第29集 日本の植民地支配の大検討
第30集 朝鮮都市論へのアプローチ
【別冊】総目次・執筆者索引

■最新号(二〇二四年一〇月現在)は、第62集。
▼年1回・10月刊 ▼本体3,000円
▼第33集 第36集は品切れ

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

▼戦後の日本朝鮮史学界の歩みを克明に記録した貴重資料！

復刻 朝鮮史研究会会報

〔創刊号（1959年）～100号（1990年）〕

〈本書の特色と内容〉

◆戦後の「朝鮮史研究」及び「朝鮮史研究会」の歩みを克明に記録した貴重な史料であり、戦後日本の朝鮮史研究の歴史を知る上で必須の文献である。また、これから「朝鮮史」を学ぶ方々、特に若手研究者には最良のテキストといえよう。

◆「朝鮮史研究会論文集」に劣らない意欲的な論考・試論を多数収録している。主な記事としては、「学界動向」「問題提起」「例会報告」「研究報告・ノート」「論文紹介」「史料紹介」「書評」「文獻目録」「研究の手引き」「翻訳」など。特に「書評」記事は充実している。

◆本書は、日本朝鮮史学界の「回顧と展望」であり、また戦後日本の「朝鮮史研究沿革誌」である。

〈刊行概要〉

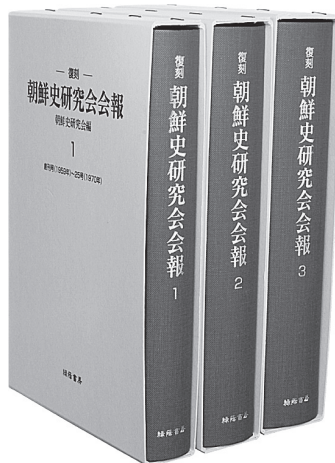
体裁 全3巻・A5判・上製クロス装・ケース入り
定価 揃本体42,000円＋税 ISBN978-4-89774-277-9 C3320

〈復刻 朝鮮史研究会会報 別巻〉

朝鮮史研究会会報 総目録・索引

〔創刊号～100号〕

— 付録 — 朝鮮史研究会論文集 総目録・索引
〔創刊号～第46号〕



◆ 体裁 A5判・並製
◆ 定価 本体3,000円＋税

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮人史 資料集

❶ 在日朝鮮人運動史研究会編
『在日朝鮮人史研究』収録の附属資料を再編集し、通覧できるようにした。他の史料集ではみることのできない在日朝鮮人・韓国人に関する資料を多数収録。
▼全2巻／揃本体24,000円
ISBN978-4-89774-134-5

在日朝鮮人 商工便覧

❷ 在日本朝鮮人商工連合会編 樋口雄一解説
戦後初めての本格的な在日朝鮮人の商工業実態に関する全国的調査資料（一九五七年版）。なお、同連合会編『調査月報』の附属資料を付す。
▼全1巻／本体9,000円
ISBN978-4-89774-135-2

戦後初期 在日朝鮮人 人口調査資料集

❸ 長澤秀編・解説
在日朝鮮人社会の構造を理解する上で不可欠な基本資料。戦後の朝鮮人集住地域に関する詳細なデータを収録。統計局の報告書としては未刊行の資料。
▼全2巻／揃本体39,000円
ISBN978-4-89774-138-3

在日朝鮮人 教育関係資料

❹ 佐野通夫編・解説
戦後の在日朝鮮人教育の歴史・背景と問題点を通覧でき、日本人教師の在日朝鮮人教育に対する取り組みや課題、そして当該期の日本政府の在日朝鮮人教育に対する政策や認識等を複合的に捉えることができる資料。
▼全3巻／揃本体46,000円（品切）
ISBN978-4-89774-142-0

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

朝鮮人強制動員 関係資料

5 山田昭次編・解説
戦時下（一九三七～一九四五）の強制動員朝鮮人鉅夫の実態を、裁判資料、戦時労働動員聞書資料、常磐炭礦朝鮮人関係資料、『労務時報』・『日本鉱業新聞』所収朝鮮人関係記事等の新資料を中心に明らかにした。
▼全2巻／揃本体24,000円（品切）
ISBN978-4-89774-145-1

在日朝鮮人 留学生資料

6 裴始美編・解説
一九二〇年代を中心とする朝鮮人留学生の動向を通観する初めての資料。朝鮮総督府や官憲の報告書、個人の書簡、日本と朝鮮の新聞記事、雑誌記事等種々の資料を収録。
▼全3巻／揃本体54,000円
ISBN978-4-89774-150-5

在日朝鮮人 警察関係資料

7 福井讓編・解説
鳥取県内を中心とした、朝鮮人関係の各種指示・連絡事項及び在日朝鮮人の身元照会・調査資料等を収録。治安当局の末端から捉え直すことで、当時の諸政策の実態に迫る。
▼全3巻／揃本体48,000円
ISBN978-4-89774-154-3

在日朝鮮人 生活保護資料

8 金耿早編・解説
一九四〇年代を中心に、戦後日本社会における在日朝鮮人の生活困難者層の動向（とりわけ生活保護受給者の動向）を広汎に記載した初めての資料集。生活保護問題を考える歴史的原点資料。
▼全2巻／揃本体36,000円（品切）
ISBN978-4-89774-159-8

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮女性 作品集

一九四五～八四

9 宋惠媛編・解説
一九四五年から一九七〇年頃まで（一世女性の日本語作品のみ一九八四年まで）の間に、朝鮮語あるいは日本語で書いたエッセイ・日記・手紙・作文・小説等を集成した初めての作品集。
▲全2巻／揃本体32,000円
ISBN978-4-89774-162-8

関東大震災 朝鮮人虐殺裁判資料

10 山田昭次編
関東大震災時の朝鮮人虐殺に関する裁判資料として現在知ることが可能な埼玉県と群馬県の判決書を収録。日本政府の朝鮮人虐殺事件の事後処理政策を研究する上で本書所収の判決書は重要な意味をもつ。
▲全2巻／揃本体39,000円
ISBN978-4-89774-165-9

資料メディアの中の 在日朝鮮人

11 外村大・韓載香・羅京朱編
一九二二～四四年迄の日本語・朝鮮語の新聞・雑誌の中から、在日朝鮮人の動向・実態・状況を伝えた一般紙の特集記事・連載記事、また総合雑誌の貴重な記事を選定し、収録した。
▲全1巻／本体18,000円
ISBN978-4-89774-167-3

神奈川 朝鮮学校資料

12 大石忠雄編
今日の朝鮮人学校問題の原点であり設立・解散・再建をたどる苦難の歴史と問題を理解するための好古の歴史的資料。神奈川県立公文書館所蔵の第一次資料（一九四五～六六）を中心に編集復刻した。
▲全2巻／揃本体39,000円
ISBN978-4-89774-170-3

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

朝鮮人強制動員

韓国調査報告

13 龍田光司編・解説

常磐炭田に戦時中強制動員された朝鮮人の実態の解明と、いわきの一市民研究家が十年間に亘り、韓国で生存者や死亡犠牲者の遺家族から直接、強制動員の実情や残された人たちの生活を聞き取り調査した報告書。

▲全2巻／揃本体 69,000円

ISBN978-4-8974-173-4

在日朝鮮人文学

資料集

一九五四～七一

14 宋恵媛編・解説

一九五〇年代半ばから六〇年代を中心に刊行された、多彩な在日文学雑誌（大村文学、朝鮮文芸、文学活動、韓国文芸、鳳仙花文芸等全一七誌）を収録した初の資料集。戦後の在日朝鮮人文学研究に不可欠の資料群。

▲全6巻／揃本体 59,000円

ISBN978-4-8974-177-2

日本朝鮮研究所

初期資料

一九六一～六九

15 井上學・樋口雄一編

戦後日本における朝鮮近現代史研究の発展は、日本朝鮮研究所の活動が大きき力となった。戦後日本の朝鮮研究はどの様な形で新たな出発をし、どの様な課題を抱えていたのか、創設期及び初期の内部資料を収録。

▲全6巻／揃本体 54,000円

ISBN978-4-8974-181-9

『セチヨソン』

地方版

一九五〇～五五

16 鄭栄桓編・解説

朝鮮戦争のさなか、在日朝鮮人により結成された非公然組織「祖国防衛全国委員会」の機関紙。長らく幻の存在であった地方版と全国版で未復刊分を収録した。五〇年代の在日朝鮮人運動史の貴重な記録。全記事目録付。

▲A4判／全2巻／揃本体 49,000円

ISBN978-4-8974-184-0

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮文学会

関係資料

一九四五～六〇

17 宇野田尚哉編・宋惠媛解説

一九四五五年の解放から一九六〇年までの在日朝鮮人の文学的営みの問題点と作品を知る貴重な資料である。本書は当該期の在日朝鮮人作家が多数所属していた「在日朝鮮文学会」の機関誌を中心に収録した。

▲全3巻／揃本体54,000円

ISBN978-4-89774-188-8

在日朝鮮人国勢調査

資料

一九四〇

18 木村健二編・解説

一九四〇年の「国勢調査」(内閣統計局)のうち第二表の内地在住ノ朝鮮人の統計原表を収録した。太平洋戦争下を除き、戦前の在日朝鮮人の年令別、産業別、職業別人数の全国的な実態を伝える唯一の資料。

▲全2巻／揃本体38,000円

ISBN978-4-89774-191-8

在日朝鮮人

ハンセン病資料

19 金貴粉編・解説

『在日韓国・朝鮮人ハンセン病患者同盟支部報』(一九六一・二〇一六)を収録。朝鮮人ハンセン病患者への諸差別・政策と闘った記録。入所者の動向解明は日本社会の差別的制度の検証にも不可欠の資料。

▲全3巻／揃本体90,000円

ISBN978-4-89774-195-6

続 在日朝鮮人文学

資料集

一九四六～六〇

20 宋惠媛／宮本正明編・宋惠媛解説

朝鮮戦争が始まる一九五〇年代の日本社会と在日朝鮮人社会の大きな変わりの中で、朝鮮青年達は何を思考しどの様な未来を描いたのか。既刊に続く在日朝鮮人文化・文学関連資料。補巻は17の未収録資料を収録。

▲全2巻・補巻1／揃本体90,000円

ISBN978-4-89774-199-6

叢書最終刊

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

関東大震災下の朝鮮人虐殺事件に

関する史料を集大成。

よみがえる『朝鮮人虐殺』の実態！



関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料（全Ⅴ集）

I 朝鮮人虐殺関連児童証言史料

琴栗洞編・解説 大震災直後に、東京・横浜の児童達が綴った未公開作文（約三百編）を収録。朝鮮人虐殺の直接・間接の証言集。
 ■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・610頁
 ■全1巻／本体19,000円＋税(978-4-89774-236-6)

II 朝鮮人虐殺関連官庁史料

琴栗洞編・解説 政府、陸・海軍、警察の対応を海軍省史料をはじめ、東京・神奈川その他府県の史料によって構成・再現した。
 ■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・640頁
 ■全1巻／本体19,000円＋税(品切)

III 朝鮮人虐殺に関する知識人の反応

琴栗洞編・解説 当時の雑誌、新聞、単行本、官報、文書等に掲載された見聞記、日記、評論等を体系的に収録し検証する。
 ■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・総974頁
 ■全2巻／本体40,000円＋税(978-4-89774-228-1)

IV 朝鮮人虐殺に関する植民地朝鮮の反応

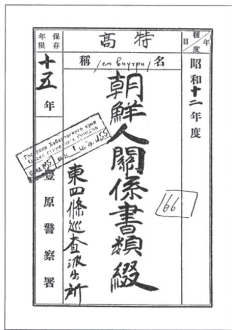
琴栗洞編・解説 朝鮮人虐殺事件に関する反応と影響を、総督府関係極秘史料と『東亜日報』『京城日報』等の新聞報道を中心に編纂。
 ■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・630頁
 ■全1巻／本体19,000円＋税(978-4-89774-232-8)

V 朝鮮人虐殺関連新聞報道史料

山田昭次編・解説 新聞は朝鮮人虐殺事件をどのように報道したか。流言の所及び、その伝播により起った全国各地の権力や民衆の動向を、さまざまな側面から報じた新聞記事を体系的に編纂した。
 ■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・6240頁
 ■全4巻・別巻1／本体60,000円＋税(978-4-89774-258-8)

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]



本書はロシア連邦サハリン州国立公文書館所蔵の樺太庁文書の内、朝鮮人に対する日本の警察中央及び南樺太警察の厳しい管理と統制の実態を示す資料を取めた。研究者未見！

長澤秀編・解説

樺太庁警察部文書

戦前朝鮮人関係警察資料集

全4巻

警察公報 第五〇號

昭和七年 度 東四条派出所

第1管区署

第2管区署

第3管区署

第4管区署

第5管区署

第6管区署

第7管区署

第8管区署

第9管区署

第10管区署

第11管区署

第12管区署

第13管区署

第14管区署

第15管区署

第16管区署

第17管区署

第18管区署

第19管区署

第20管区署

第21管区署

第22管区署

第23管区署

第24管区署

第25管区署

第26管区署

第27管区署

第28管区署

第29管区署

第30管区署

第31管区署

第32管区署

第33管区署

第34管区署

第35管区署

第36管区署

第37管区署

第38管区署

第39管区署

第40管区署

第41管区署

第42管区署

第43管区署

第44管区署

第45管区署

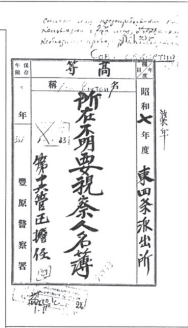
第46管区署

第47管区署

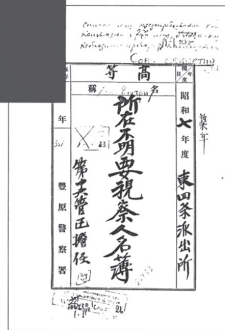
第48管区署

第49管区署

第50管区署



九〇五〜四五五年の朝鮮人関係資料及び戦争末期・敗戦直後の樺太の状況資料を含む、計八三二件、約三〇〇〇頁を収録。又、炭鉱資料として貴重な樺太炭鉱資料（外務省外交史料館蔵）等も収録！



奇跡的に敗戦の破棄・焼却を免れ、国内にはほとんど現存しない「朝鮮人関係の警察文書」を体系的に編纂して公開する！

■編集復刻版（B5判・上製クロス装・ケース入り）
■本体80,000円（978-4-88774-270-0）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

資	料	雑	誌	近	代	朝
		に	み	日	本	鮮
		る		の	認	識

韓国併合期前後

琴秉洞編・解説

全巻の構成

- 第1巻 保護条約締結以前期（明治34・12～明治38・12）
 第2巻 統監政治期上（明治39・1～明治41・12）
 第3巻 統監政治期下（明治42・1～明治43・7）
 第4巻 併合条約締結期（明治43・8～明治43・12）
 第5巻 併合初期（明治44・1～大正3・9）

内容▼全5巻〔全30誌収録〕

体裁▼A5判・上製クロス装・ケース入り

頁数▼総約2,860頁

定価▼本体98,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-241-0 C3021

韓国・朝鮮関係資料

資	料	新	聞	見
		社	説	る
		に	朝	鮮

近代日本の朝鮮認識の形成を明治期のオビニオン・リーダーである新聞社説によって通史的・体系的に見ることのできる画期的な新聞集成。

征韓論～日清戦争

北原スマ子・園部裕之・趙景達・長谷川直子・吉野誠 共編

全巻の構成

- 第1巻 横浜毎日新聞
 第2巻 東京日日新聞
 第3巻 朝野新聞・大阪毎日新聞
 第4巻 郵便報知新聞・読売新聞
 第5巻 時事新報・日本
 第6巻 大阪朝日新聞・東京朝日新聞・自由新聞・東雲新聞・国民新聞・万朝報・二六新報

別冊 朝鮮関係社説目録

内容▼全6巻〔全15紙収録〕＋別冊

体裁▼B5判・上製クロス装・ケース入り

頁数▼総約3,090頁

定価▼本体150,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-223-6 C3021

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

石炭統制会極秘文書

戦時下強制連行資料集

長澤秀編・解説

〔全四巻〕

戦時下（昭和17～20年）、朝鮮人・中国人・連合軍俘虜の強制連行による全国の主要炭鉱（樺太を含む）の詳細な労務統計と労務管理の実態を示す極秘内部資料を体系的に収録、編纂したものである。本資料は今日までのほとんどが研究者未見の資料群で、日本政府の朝鮮人強制連行政策や、外国人俘虜に関する非人道的政策の解明に光を当てる第一級の第一次資料である。

〔各巻の構成〕

- I 朝鮮人強制連行関係「統計編」
▼収録史料 二〇件 三四四頁
- II 朝鮮人強制連行関係「文書編」
▼収録史料 四三件 三八四頁
- III 中国人強制連行関係
▼収録史料 四一件 三六八頁
- IV 連合軍俘虜関係
▼収録史料 百数件 四八〇頁

〔体裁〕

B5判上製／クロス装函入／一、五七六頁
本体八〇、〇〇〇円（978-4-89774-209-0）

韓国・朝鮮・在日朝鮮人関係資料

石炭産業内部文書

戦時下強制連行極秘資料集

長澤秀編・解説

〔東日本篇／全四巻〕

朝鮮人労働力の確保から日本への移送、炭礦での日々の教育訓練、勤務状況、食住環境から健康、被災、逃亡の状況等労務管理・統制の実態と敗戦後の朝鮮人の動向、帰郷状況を当事者の綴る克明な記録、内部文書によって初めて明らかにする。

〔各巻の構成〕

- I 樺太庁行政文書／北海道立労働科学研究所・研究調査報告／福島県庁行政文書／他
▼収録史料 一〇四件 約四一〇頁
- II 住友鑛業(株)歌志内鑛業部資料1
▼収録史料 三八件 約三八〇頁
- III 住友鑛業(株)歌志内鑛業部資料2／常磐炭礦(株)関係資料／他
▼収録史料 一三三件 約三八六頁
- IV 石炭鉱業連合会文書／石炭統制会東部文書／戦時下常磐炭田の朝鮮人鉱夫殉職者名簿／他
▼収録史料 一五一件 約三八二頁

〔体裁〕

B5判上製／クロス装函入／一、五三八頁
本体八〇、〇〇〇円（978-4-89774-229-8）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

戦時下朝鮮人 労務動員基礎資料集

樋口雄一編・解説 太平洋戦争下朝鮮における戦時労務動員の実態を示す初の基礎資料集。労務動員の法的資料、農村の農民移動資料、労働者の基礎調査資料及び、労務資源調査を中心とした総督府の公文書資料等を収録した。

■編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
■全5巻／本体60,000円(978-4-89774-246-8)

朝鮮労務

庵途由香監修・解説 昭和一六年、朝鮮総督府の労務対策協力団体として設立した「朝鮮労務協会」の幻の機関誌。戦時下朝鮮の労働力動員政策の推進に大きな役割を担った。植民地末期の史実解明に貴重な第一級資料。

■復刻版(A5判・B5判・上製クロス装・ケース入り)
■全4巻／別冊1／本体99,000円(978-4-89774-246-5)

朝鮮総督諭告・訓示集成

水野直樹編・解説 韓国併合から日本敗戦、朝鮮解放までの全時期を通して、歴代の朝鮮総督の諭告・訓示類を時系列に編集した待望の資料集。植民地支配全般(政治・経済・社会・教育など)の研究に必備。

■編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
■全6巻・別冊1／本体120,000円(978-4-89774-251-9)

戦時下朝鮮民衆の生活

樋口雄一編・解説 朝鮮総督府支配下の朝鮮で刊行された、農民の生活状況(食と栄養・健康・階層分布・自然災害・言動・抵抗)が分かる文書資料を中心に編集。本資料は、日本の植民地支配の本質を示すものである。

■編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
■全4巻／本体80,000円(978-4-89774-186-7)

戦時下在日朝鮮人 新聞資料[東亜新聞]

外村大編・解説 戦時下の動向を、在日朝鮮人自身が発行し伝えた唯一の記録『東亜新聞』。現存するすべて(全一四号・昭和一四年七月一五号―一八年三月五号)を公刊する。日本政府の対朝鮮人政策、朝鮮人の対応を知る貴重な資料。

■復刻版(A4判・上製クロス装・ケース入り)
■全3巻／本体75,000円(978-4-89774-234-2)

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

大村益夫・布袋敏博編

近代朝鮮文学日本語作品集

全三期・全 23 巻・揃本体 266,000 円

第一期【1939-1945】全 9 巻

近代朝鮮文学の最も暗黒の時期の作品を集成。日本語の作品が集中的に発表され、朝鮮近代文学が最高の極みに達した時代—李光洙、金史良など 141 人、473 編収録。

■創作篇 全 6 巻／揃本体 68,000 円／ISBN978-4-89774-031-7 C3097

■評論・随筆篇 全 3 巻／揃本体 36,000 円／ISBN978-4-89774-032-4 C3097

第二期【1901-1938】全 8 巻

第二期は、1901年～38年までに朝鮮人によって書かれた日本語の作品と、日本語に翻訳された作品を集成。李人植、崔承喜、金東仁、張赫宙など 191 人、442 編収録。

■創作篇 全 5 巻／揃本体 56,000 円／ISBN978-4-89774-059-1 C3097

■評論・随筆篇 全 3 巻／揃本体 34,000 円／ISBN978-4-89774-060-7 C3097

第三期【1908-1945】全 6 巻

第三期（セレクション）は、第二期で未収録だった詩・詩論と、原作が一九三八年以前に書かれ三九年以降に翻訳発表された作品、それに『國民新報』掲載の作品を中心に、選択・構成し、集成した。朱耀翰、鄭芝溶、韓龍雲、李石薫、韓雪野、李孝石など 252 人、900 編以上収録。

■セレクション 全 6 巻／揃本体 72,000 円／ISBN978-4-89774-080-5 C3390

植民地朝鮮史研究の 第一級の資料がここに

南富嶺（静岡大学人文学部教授）

『近代朝鮮文学日本語作品集』（第一期）（第二期）が、大村益夫・布袋敏博両氏によって刊行されて以来、私はいつも両作品集をそばに置いて、時間的余裕があるたびにばらばらめくっている。植民地期の朝鮮研究において手放せないバイブルのような資料集だからである。第一期の刊行に際し、私はその圧巻の量に驚愕した。これまで言われたいわゆる「親日文学」としての日本語小説が、これほど多く、これほど多彩な作家によって書かれたことに大いに驚かされたのである。第二期の刊行が終わった時、最初の驚きはようやく収まり、かえって平然とした気持ちでこれらの作品を読み始めた。作品集をひとつとく、植民地期朝鮮の歴史・思想・文化・社会相などに幅広くわたっている。本書はそうした意味で際限のない広がりをもっているといえる。

今般、さらに第三期（全六巻）が刊行される。第三期には注目すべき作品が多く収録されている。小説では翻訳作品が多数掲載され、朝鮮語作品と日本語作品を比較検討する作業の必要性を示唆する。また朱耀翰、鄭芝溶、李箱などの日本語詩作も多く収録され、両言語における相互関連状況を窺わせる。評論では、当時の朝鮮の文学状況を克明に示す重要な作品が多く見られ、さらに金史良の書翰などをはじめ、今まで未確認の貴重な資料も多数収録されている。

本作品集は、ひとえに大村益夫・布袋敏博両氏の長年の研究調査によってようやく結実したもので、近代朝鮮の研究や理解において欠かすことの出来ない第一級の資料集といえる。まさに資料の宝庫なのである。朝鮮にかかわる文学・歴史・社会・文化などに興味のある読者・研究者たちに、ぜひ一読をお勧めしたい。第一期でも第二期でも第三期でも、その順序は構わない。

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

多角的視点から総体的に捉え直した画期的な試み！

◆京都大学人文科学研究所の共同研究成果報告書

近代日本のアジア認識

本書の目次内容

アジア認識の基軸（山室信一）

思想基軸としての文明／思想基軸としての人種
アジア主義とその周辺（古屋哲夫）

アジア主義の出发点／対外発展の条件と方向をめぐって／第一次大戦と中国認識／アジア・モンロー主義と石井・ランシング協定／インドへの関心／文明論・人種論とアジア主義

日清戦前の中国・朝鮮認識の形成と外交論（伊藤之雄）
維新後の中国・朝鮮に対する日本の優越意識の形成／天津条約後の中国認識の変動と列強に対する危機感

開港場・神戸からみた「アジア」（奥村弘）
「神戸又新日報」の性格について／「又新」の情報入手のルートをめぐる／清国および清国人認識の位相／反像としての社会的文明開化主義／認識されない「アジア」



近代日本の台湾認識（呉宏明）

台湾協会の設立をめぐる／台湾協会の設立と変遷／台湾協会会報「東洋雑誌」にみられる台湾・台湾人認識／台湾人からみた日本人の台湾認識

近代日本の朝鮮認識（里上龍平）

朝鮮保護政治と在朝日本人／「東邦協会会報」と朝鮮／「東京経済雑誌」にみる朝鮮／雑誌「朝鮮」にあらわれた朝鮮観／「移住案内」類にあらわれた朝鮮観

教育雑誌にみるアジア認識の展開（尾崎ムゲン）

日清戦争から日露戦争期に至るアジア認識／日露戦争後の時代精神と「清韓経営」／韓国併合から第一次世界大戦期のアジア認識
租界在日日本人の中国認識（桂川光正）
天津租界・天津居留民団／日本人社会／排日運動をめぐる／

東西文明論と日中の論壇（石川禎浩）
一代の論客茅原華山／茅原華山の「悲壮なる精神」と李大剣の「青春」／中国における「東西文化問題論戦」と日本の東西文明論／日中における東西文明認識の位相

一キリスト教に現れたアジア認識（武部保）
植村正久と柏木義四／一九一〇年の朝鮮とキリスト者／一九一九年の朝鮮人殺害事件に触れて

柳田泉の「アジア認識」（福井直秀）
インドネシア／「政治」としての「南洋」／「南洋」をどうするか／比較民俗学

一九二〇年代日本・朝鮮・中国におけるアジア認識の一面（水野直樹）

アジア民族会議の開催／会議をめぐって／日本／朝鮮における会議批判の論調／中国における会議批判の論調

「大東亜共栄圏」構想とその構造（山本有造）

「大東亜共栄圏」構想の成立／大東亜建設審議会について／「大東亜建設審議会」答申における「大東亜共栄圏」構想

社会学者の戦時下のアジア論（秋定嘉和）

問題の所在／「日本資本主義発達史講座」から戦時下へ／民族主義への傾斜／中国研究への参加／戦争協力への理論的参加／思想と反省
戦後マルクス主義史学とアジア認識（永井和）
マルクス主義史学と「アジア的停滞性論」／初発の形態／「アジア的停滞性論」のアポリア／歴史学研究会と「世界史の基本法則」／中国史研究者の模索／江口村郎の修正理論／遠山茂樹の「世界史像の再構成」

「執筆者一覧」
古屋哲夫／山室信一／伊藤之雄／奥村弘
呉宏明／里上龍平／尾崎ムゲン／桂川光正
石川禎浩／武部保／福井直秀／水野直樹
山本有造／秋定嘉和／永井和

◆「古屋哲夫編」
◆A5判／上製クロス装／総724頁
◆定価11本体18,000円＋税

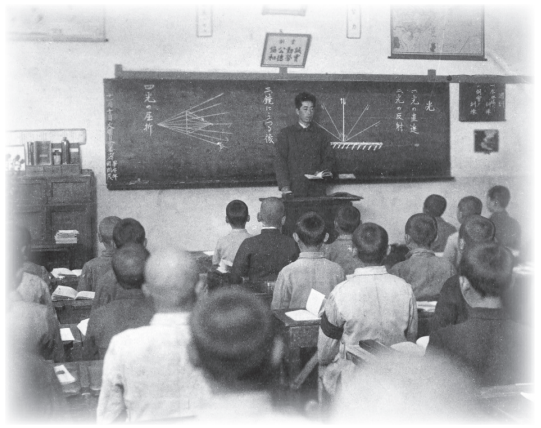


緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

竹中憲一（早稲田大学教授）編・解説

「満州」植民地 日本語教科書集成 全7巻



近年、戦前・戦中期の日本植民地教育史は、調査・研究の諸方面で大きな進展と成果を示している。資料の面では、教科書資料についてみれば植民地内居住の日本人子弟に対するものが中心であった。一方、日本の植民地教育・言語政策の根幹をなす植民地民衆に対する日本語教育・啓蒙の実態を知るための日本語教育資料は、これまでほとんど体系的に示されることはなかった。

今回刊行する公的日本語教科書・教師用指導書は、「満州」及び「満州国」で主として中国人に対し、どのような教科書を使用して、どのような教育をしようとしていたのか、その実態を示す第一級の日本語教育史料である。さらに「満州」のみならず、日本植民地教育史の空白を補う資料として大いに活用していただければ幸いである。

●刊行概要〈編集復刻版〉

- 第1巻「初級教材」全16冊／第2巻「初級教材二」全12冊
- 第3巻「中級教材」全12冊／第4巻「高級教材一」全8冊
- 第5巻「高級教材二」全8冊／第6巻「速成教育教材」全9冊
- 第7巻「満州国教科書」全14冊

●B5判・上製クロス装・ケース入り

（一頁に四面付とし、全79冊を縮小して収録した）

●定価＝揃本体129,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-508-4 C3337

●推薦します

- 上野田鶴子（東京女子大学現代文化学部教授）
- 奥津敬一郎（東京都立大学名誉教授）
- 甲斐陸朗（国立国語研究所長）
- 木村宗男（元早稲田大学教授・元日本語教育学会副会長）
- 金田一春彦（国語学者）
- 佐治圭三（京都外国語大学契約教授）
- 宮島達夫（国立国語研究所名誉所員）
- 吉岡英幸（早稲田大学院日本語教育研究委員長）

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

竹中憲一（早稲田大学教授）編・解説

「満州」植民地 中国人用教科書集成

全8巻

戦後60年、既に大半が破棄され、散逸した旧「満州」関係の教科書を、広く国内外に探し求め、「満州」における植民地教育の実態を示す根本資料（教科別の日本語教科書・中国語教科書・教師用指導書及び排日教材）を体系的に編纂した。当時、日本の異民族同化教育はどの様に行われたのか、その核心の資料を「満州」植民地日本語教科書集成の統編として公開する。

〈尚、主要な中国語教科書には対訳を付した〉

●刊行概要（編集復刻版）

- 第1巻「修身教科書」全12冊
 - 第2巻「修身教科書」全3冊
 - 第3巻「国語教科書」全12冊
 - 第4巻「国語教科書」全12冊
 - 第5巻「歴史・地理教科書」全14冊
 - 第6巻「理科・農業・体育・図画教科書」全20冊
 - 第7巻「算術・唱歌教科書」全21冊
 - 第8巻「中国教科書排日教材」＋解説 全2冊
- B5判・上製クロス装・ケース入り
- （二頁に四面付とし、全96冊を縮小して収録した）

●定価 2冊本体148,000円＋税（分売不可）

ISBN4-89774-510-1 C3037

●推薦します

阿部 洋（国立教育政策研究所名誉所員）
佐藤尚子（広島大学教授）
佐野通夫（四国学院大学教授・日本植民地教育史研究会代表）

●おすすめしたい方

「満州」植民地日本語教科書集成のご購入者をはじめ、日本教育史・日本植民地史・近代日本史の研究者、日本語教育研究者、民族教育研究者、国語研究者、大学図書館・公共図書館、及び関係研究機関など

緑蔭書房

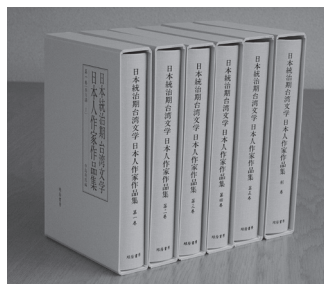
〔消費税が別途加算されます〕

▼植民地台湾文学、近代日本文学の空白をうめる初の本格的作品集〈2刷〉

日本統治期台湾文学 日本人作家作品集

中島利郎・河原功編〈新装版〉

全五巻・別巻一



※新装版では表紙のクロスに、ダイニックのアートベラムEを使用しました。

西川滿、濱田隼雄、坂口禰子、中山侑、川合三良の代表作を編集復刻。

別巻では内地作家（12名）が台湾を描いた作品を収録した。
台湾文学研究に必読の基本資料である。

〈本書の構成〉

- 第一巻「西川滿Ⅰ」 中島利郎編 480頁
- 第二巻「西川滿Ⅱ」 中島利郎編 514頁
- 第三巻「濱田隼雄Ⅰ」 河原功編 488頁
- 第四巻「濱田隼雄Ⅱ」 河原功編 510頁
- 第五巻「坂口禰子・中山侑・川合三良」 中島利郎編 624頁
- 別巻「内地作家」 河原功編 626頁

宇野浩二／佐藤春夫／伊藤永之介／中村地平／真杉静枝／
田村泰次郎／北原白秋／大鹿卓／野上弥生子／窪川（佐多）
稲子／丹羽文雄／広津和郎

〔推薦〕下村作次郎・藤井倉三・松永正義
〔体裁〕編集復刻版・四六判・上製クロス装・ケース入り・総3244頁
〔定価〕揃本体¥56,000円（分売不可）

ISBN978-4-89774-020-1 C3391

▼編者の言葉

一九八七年台湾において戒厳令が解除されて以降、台湾に関するあらゆる分野の研究が盛んになった。それは台湾のみにとどまらず日本においても然りである。
文学の分野にあっても葉石濤『台湾文学史綱』や前衛出版社『台湾作家全集』を始め『巫永福全集』『呂赫若著作集』『張深切全集』など個人作家の著作集や全集が（この他にも『楊逵全集』や『黃得時著作集』もまもなく出る）刊行され、また日本でも研文出版、田畑書店や東方書店などより翻訳書や資料集、研究論文集が出版されている。ただ、いづれも台湾人作家の作品、あるいは研究が主で、日本人作家に関するものはほとんどないといつてよい。戦後ほとんどなく、戦前の台湾文学界には百名以上の日本人作家がいて作品を残し、台湾の近代文学構築の一翼を担っていたのであるが、いまはほとんどの作家が忘れ去られようとしている。

本書『日本統治期台湾文学、日本人作家作品集』では、それら日本人作家の代表作を通覧閲読できるように集成し、かつ研究資料としても使用できるようにできる限り初出の形態で復刻し（一部編集復刻）、作家年譜なども付録とした。戦前の日本本土の著名な作家たちの台湾観をも概観できるように「内地作家」を別巻とし、台湾文学のみならず日本文学の立場からの研究にも利便をはかった。

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼植民地台湾で活躍した台湾人作家たちの初の本格的作品集へ2刷

日本統治期台湾文学 台湾人作家作品集

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲編 〈新装版〉 全五巻・別巻一

本書は既刊『日本統治期台湾文学日本人作家作品集』の続編で、楊逵・呂赫若・龍瑛宗・張文環などの代表作を中心に「日本語作品」を集成した日本で最初の本格的な台湾人作家の作品集である。また、別巻には発禁も含め資料的価値の高い「中国語作品」を一括収録した。今後の台湾文学研究の基本資料として活用していただきたい。

〈本書の構成〉

- 第一巻「楊逵」 河原功編 438頁
- 第二巻「呂赫若」 黄英哲編 424頁
- 第三巻「龍瑛宗」 下村作次郎編 444頁
- 第四巻「張文環」 中島利郎編 380頁
- 第五巻「諸家合集」 河原功・中島利郎編 416頁

別巻「諸家合集Ⅱ中国語作品」 下村作次郎・黄英哲編 460頁

吳濁流・楊千鶴・葉石濤・周金波
蔡愁洞・陳虛谷・龐人・郭秋生・賴和・賴賢穎・林越峰・
馬木樞・尚未央・王詩琅・楊華・楊守愚・楊雲萍・一吼・
張慶堂・張我軍・朱点人

▼本作品集の特色

- 台湾人作家の「日本語作品」を通覧閲読できるように集めた。
- 入手・閲覧の難しい作品を多く収録した。
- 別巻には発禁も含め資料的価値の高い「中国語作品」を一括収録した。
- 研究資料としての側面を考慮し、オリジナルな形で復刻に留意した。
- 台湾文学研究の手引として、作家の略歴、著作年譜、研究文献目録、作品解説を付した。
- 台湾文学の基本文献として、また台湾植民地研究の深化にも貴重な資料である。

《推薦》尾崎秀樹・川村湊・陳芳明

《体裁》編集復刻版・四六判・上製クロス装・ケース入り・総2,562頁
《定価》揃本体158,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-025-6 C3397



*新装版では表紙のクロスに、ダイニクのアートペラムEを使用しました。

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

日本統治期台湾文学 文芸評論集

全五巻

中島利郎・河原功・下村作次郎編〈新装版〉

体裁 編集復刻版・A5判・上製クロス装・総2100頁

定価 揃本体 60,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-030-0 C3397

本評論集は、既刊の『日本統治期台湾文学 日本人作家作品集』及び『同
台湾人作家作品集』の姉妹編である。

台湾の近代文学の創作は、日本の領台ほぼ三〇年を経た一九二〇年代初
頭に始まり、二五年以降に盛んになる。それに関連して文芸評論も出るが、
本格的な台湾文学に関する作家・作品論の登場は、三三年の『フォルモサ
創刊以降、楊逵の「新聞配達人」が日本の文壇で話題となつて以降であり、
四〇年代に入り「台湾文壇の成熟期」を迎えて創作の増加にともなつて文
芸評論は最盛期を迎える。

もちろん楊逵以前にも文芸評論はあった。しかし、それらは台湾におい
ていかなる近代文学を生み出すか、台湾文学をいかに表記するかという、
所謂「新旧文学論争」及び「郷土文学論争」に関わる論争が主であった。
台湾の文壇は、その成熟期にあつても一人の職業作家も産み出さなかつ
たし、勿論、一人の職業的文芸評論家もいなかった。しかし、彼らはそれ
に反するよう、台湾という土壌に根ざし、台湾の錯綜する歴史の上に自
らの文学的営為を育んでいった。台湾文学は台湾という土地を愛した、作
家たちの結晶といえる。そして、時には側面時には正面よりそれを支
援したのが文芸評論であった。

本資料集は、以上に挙げた論争をも含み、編者三人が閲覧した広義の文
芸資料類（但し、新聞等は除く）を網羅的、編年式に収録し『文芸評論集』
と名付けて刊行するものである。

■台湾における文芸評論が始まつた一九二〇年代より四五年終戦ま
での日本統治期台湾の文芸関係を中心とした評論類（雑誌三〇誌、
総四八五編（一部中文を含む）、執筆者三三〇名）を網羅した。

■本評論集は、日本植民地文学の初めての文芸評論集で、今回収録
した台湾文芸評論の作品群は他に見ることは難しく、現時点にお
いて台湾文芸評論集の決定版である。

■台湾の文学運動・文芸界の流れを通覧できるように基本的に編年
体とした。

■本評論集は作品作家の紹介、批評、文学運動論、文芸論争、文学界・
演劇界の動向、文芸諸雑誌の紹介を満載。日本統治期台湾文学研
究に必須の資料集である。

■研究資料としての側面も考慮してオリジナルな形で復刻（編集復
刻も含む）した。

■本書未収録論文も網羅した「日本統治期台湾文学文芸評論目録」「執
筆者名索引」「解説」を付し研究者の便をはかった。

関連図書



日本統治期台湾文学 研究文献目録

中島利郎・河原功・下村作次郎編 日本統治期の台湾で活躍した代表的な台湾人・日本
人作家の著作目録・研究文献目録と当時の主要文芸誌総目録、及び戦後の日本における
台湾文学研究の現状を鳥瞰できる目録を収録。 本体 12,000円（A5判）

日本統治期台湾文学小事典

中島利郎編・著 主要な台湾人作家、日本人作家、文学関連事項等、約300項目及び、
「写真で見る日本統治期台湾文学小史」を収録。 本体 9,000円（A5判）



緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

新発掘の作品や新たな研究分野の作品群を網羅した画期的文学集

日本統治期台湾文学集成

第一期 全20巻 ■揃い99,000円

- 1 台湾長篇小説集一 * 下村作次郎編『紅塵龍珠集』 9,800円
- 2 台湾長篇小説集二 * 中島利郎編『山茶花』張文環 8,800円
- 3 台湾長篇小説集三 * 河原功編『争へぬ運命』林輝雄 9,800円
- 4 台湾短篇小説集 * 中島利郎編『生死の海』西川滿編『秋』濱田雄雄編 9,600円
- 5 台湾純文学集一 星名宏修編『愛御親親』鹿嶋『山茶花』巫永福編『過海關』王育徳編『部落日記』楊雲萍 他三編 9,600円
- 6 台湾純文学集二 星名宏修編『泥鰌』柴田杜夜子編『小野文朗』『池畔の窓』田澤編『福柏の隣』河野慶房 他二編 9,800円
- 7 台湾通俗文学集一 河原功編『夢の紅蓮花』竹田五左之島人編『空は紅い』大野俊文編『山おはれ』小島泰介 他二編 8,800円
- 8 台湾通俗文学集二 中島利郎編『泥鰌』柴田杜夜子編『男の気持』陳華培編『婆機に結ぶ』大庭さくら子 他一編 8,800円
- 9 台湾探偵小説集 中島利郎編『奇代の兇賊』台北城下を騒がす『阪岡刑事談』『金塔場の行脚』座光東平 他二編 9,000円
- 10 台湾戯曲・脚本集一 * 河原功編『夜明けの歌』『皇民化劇脚本集』『皇民化劇の手紙』他三編 9,800円
- 11 台湾戯曲・脚本集二 * 河原功編『戦果』『青年演劇脚本集第一輯』『手紙に出来る青年演劇脚本集第二輯』 9,400円
- 12 台湾戯曲・脚本集三 * 河原功編『青年演劇脚本集第一輯』『青年演劇脚本集第二輯』 9,800円
- 13 台湾戯曲・脚本集四 * 中島利郎編『麗郷』呂吉村編『一の矢弾』吉村敏 9,400円

第二期 全10巻 ■揃99,000円

- 14 台湾戯曲・脚本集五 * 中島利郎編『風風の死』田青緑編『南方発展史』海の豪族』長谷川伸・片桐勇男 他二編 9,600円
- 15 台湾随筆集一 河原功編『美はしき背腰』尾崎孝子 8,600円
- 16 台湾随筆集二 中島利郎・下村作次郎編『思想集』雨窓墨瀟編『孤独な蒼鳥』龍珠宗 9,400円
- 17 台湾随筆集三 中島利郎編『朗人の匂い』金関文夫編『たゝかひの隣』丸井妙子 1,000円
- 18 台湾詩集 河原功編『霧の道』王白淵編『その日暮しの中』上忠司編『南方の果樹園』黒木野子編『山河』楊雲萍 1,000円
- 19 葉歩月作品集一 * 下村作次郎編『長生不老』白昼の殺人』他九編 8,000円
- 20 葉歩月作品集二 * 下村作次郎編『七色の心』葉思婉・周原朗校訂 1,000円
- 21 台湾鉄道作品集一 中島利郎編『短編』坑道』宮崎直介編『探偵小説二将軍の壁面』福田壽夫編『弾道』河北峻雄 他九編 9,400円
- 22 台湾鉄道作品集二 中島利郎編『機関手の錯覚』楊説編『百聞百見記』西川滿編『笑ふ清原莊』龍珠宗 他五編 9,400円
- 23 台湾新報・青年版作品集 中島利郎編『光の中に』高山月石編『呂宋の結婚』龍珠宗編『追しき戦後』周金波 他四編 9,800円
- 24 台湾漢文通俗小説集一 黃英哲編『俠骨書』李漢清編『落花記』辛逸濤 9,800円
- 25 台湾漢文通俗小説集二 黃英哲編『俠骨書』李漢清編『落花記』辛逸濤 9,800円
- 26 呉鳳関係資料集一 下村作次郎編『殺身成仁』通事呉鳳中田直久編『遺は輝やく義人呉鳳』三浦幸太郎 9,600円
- 27 呉鳳関係資料集二 下村作次郎編『呉鳳』呉鳳廟事務所編『呉鳳』呉鳳廟改築委員会編『伝説小説』呉鳳』呉鳳廟 他三編 9,000円
- 28 「サヨンの鐘」関係資料集 下村作次郎編『沙袋測計』愛国小説呉鳳漫沙編『サヨンの鐘』呉鳳漫沙 春光測計 他五編 1,000円
- 29 王昶雄作品集 河原功編『淡水河のほとり』『梨園の秋』奔流』『鏡』(未完) 他二編 9,600円
- 30 河濁流作品集 河原功編『胡志明』『ボツタン人科長』 9,800円

〈写真は第一期分〉



*は品切れです

中島利郎・河原功・下村作次郎監修
◆全二期・全30巻——揃本体285,000円
体裁=四六判・上製クロス装・ケース入り

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

台湾統治・台湾警察の実情を綴ったもう一つの『沿革誌』

驚巢敦哉著作集

中島利郎・吉原丈司＝編集

日帝統治下台湾史の根本史料として著名な『台湾総督府警察沿革誌』の編纂者であり、実質的な著者でもある驚巢敦哉の主要著作を初めて集成。『沿革誌』を補完し、日本の台湾統治の裏面、台湾警察の実態を知る上で、また驚巢研究に必備の著作集。

全巻内容

I 警察生活の打明け物語

〔内容〕序文に「警察生活十五年に亘る豊富なる体験に基き、警察のあらゆる階級及警察実務の各方面に亘り経験談を叙述」とあるように、総督府の警察組織と警察官の活動の実態を描く。
〔解説〕吉原丈司（原本Ⅱ昭和9年2月15日発行／個人出版）
〈巻頭に口絵を付す〉

II 台湾警察四十年史話

〔内容〕本書は一般警察官教養資料として、創始四十年余に及ぶ台湾警察のあらゆる部門の概況を記述したもの。著者自ら本書を『台湾警察通俗沿革誌』と述べているように、『台湾総督府警察沿革誌』を補完する史料。
〔解説〕吉原丈司（原本Ⅱ昭和13年4月28日発行／個人出版）

III 台湾保甲皇民化読本

〔内容〕台湾における皇民化運動の歴史と理念と実態を論じたもの。当時の当局の大衆操作の一面を知る上で必読資料。
〔解説〕吉原丈司（原本Ⅱ昭和16年11月20日第三版発行／台湾警察協会）

IV 台湾統治回顧談

——台湾の領有と民心の変化——

〔内容〕領台前後から五〇年間、日本統治の実態と民情の変遷を系統的物語風に詳述。本書は雑誌『台湾地方行政』に連載されたものを単行本にして公開したもの。
〔解説〕中島利郎（原本Ⅱ昭和18年9月20日発行／台湾警察協会）

V 雑誌所収著作

- 〔内容〕
- 1 『台湾警察協会雑誌』所収著作
「本島警察の特質を論ず」・警察講習所たより」他
 - 2 『台湾警察時報』所収著作
「警察漫想」・「台警今昔物語」・「警察界道楽説」他
 - 3 『台湾地方行政』所収著作
「台湾地方行政の四十年史話」他
 - 4 『台湾時報』所収著作
「拓務省の沿革」・「台湾皇民化の諸問題」他
 - 5 『台法月報』所収著作
「法院制度の今昔物語」
- 〔解説〕吉原丈司
〈巻末に著作目録、小伝（年譜）、人名索引を付す〉

別巻 警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引

補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引（吉原丈司Ⅱ編集）

◎全5巻・別巻1・補遺1

◎編集復刻版・四六判・上製クロス装

◎定価 揃本体75,000円＋税

別巻・補遺は分売します（別巻Ⅱ本体15,000円＋税）
（補遺Ⅱ本体10,000円＋税）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

日本統治以前期の台湾を知る貴重な記録。

ル・ジャンドル 台湾紀行

編纂にあたって

我部政男

本書『ル・ジャンドル台湾紀行』（原題「李氏台湾紀行」）は、『Notes of Travel in Formosa』と題して一八七四（明治七）年にル・ジャンドルが書いたものを太政官正院で翻訳・編修したものである。

近代日本の最初の対外侵略となった台湾出兵に重要な役割を演じたのは、米国廈門領事から日本政府顧問となったル・ジャンドルその人であり、台湾に関する有益な大量の情報を日本政府に提供した。一八七二年、台湾問題に関する意見を述べた覚書も彼の豊富な台湾についての知識や体験にささえられたものであった。廈門領事時代、一八六七年の台湾における米船ローヴァー号事件の処理に米人遠征隊を組織したのをはじめとして七二年まで数度にわたり台湾を巡回し見聞を深めた。

本資料は日本統治以前期の台湾を知る貴重な記録であり、近代日本の植民地支配・台湾認識の形成に大きな影響を与えた記念碑的資料でもある。その内容は多岐にわたる。オランダ統治期の記録、清国の台湾統治の実情、ローヴァー号事件の経緯等を収録。台湾の自然と社会の観察・分析は直接の体験を映して大変興味深い内容となっている。とくに台湾原住民族の記録は人類学的にも貴重なものである。

本資料は原本、訳本とも国立公文書館にしかないもので、今回、全冊復刻刊行にあたって訳本（和綴本、縦26・5センチ×横19センチ）を四六判に縮小し、合本にあたっては原本英文目次を参照した。今後の台湾研究に広く活用されることを期待します。



ル・ジャンドル
(Charles W. Le Gendre, 李仙得)

我部政男〔山梨学院大学教授〕
栗原 純〔東京女子大学教授〕 編

原題『「李氏台湾紀行」全11巻

底本＝国立公文書館所蔵本

全四巻〔四六判・上製クロス装〕

第一巻（第1回～第7回収録） 402頁

第二巻（第8回～第10回収録） 416頁

第三巻（第11回～第22回収録） 448頁

第四巻（第22回～第27回収録） 410頁

▼解説は第四巻の巻末に入ります

〔定価〕

本体60,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-88774-240-3 C3030

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

台灣大年表

〔復刻版〕

台灣日誌

〔編集復刻版〕

改訂増補 臺灣六法

〔復刻版〕

『台灣日日新報』近代文学

關係作品目録

昭和編
一九二六～一九四四

『台灣民報・台灣新民報』

総合目録

『台灣警察協會雜誌』

『台灣警察時報』総合目録

『台法月報』総合目録

日本統治下台湾五十年の動向が鳥瞰できる唯一の年表・日誌
■大年表→台湾経世新報社編『台湾大年表』を底本とした。
 本体16,000円(B5判・上製クロス装・ケース入り)
■日誌→台湾総督府編『台湾時報』巻末の『台湾日誌』を採録
 本体16,000円(B5判・上製クロス装・ケース入り)

台湾日日新報社編／昭和九年版 日本統治下台湾の特殊な法制体系を知るための不可欠な文獻。台湾はもとより日本植民地研究に必携。台湾六法としては、本書が唯一のもので、原本は日本で見ることができない貴重な史料。
■本体50,000円(B5判・上製クロス装・ケース入り)

中島利郎・横路啓子編 日本統治期最大の日刊紙『台湾日日新報』に掲載された近代文学関係作品(小説・随筆・評論・詩・児童文学・書評・コラム・戯曲)を網羅。台湾文学研究者はもとより、日本近代文学研究者、図書館に必備。
■本体30,000円(B5判・上製カバー装・ケース入り)

中島利郎編 本誌(付・『台湾青年』『台湾』を含め四誌を取録)は、創刊以来、台湾人の総督府への不満と反抗の精神が誌面に満ちた「台湾人唯一の言論機関」誌である。本書はそのような台湾人の記録が四誌同時に通覧できる。
■本体32,000円(全2巻・A5判・上製クロス装・ケース入り)

中島利郎・林原文子編 本誌は、台湾総督府関係の重要雑誌の中で、これまでその内容が殆ど知られていなかった機関誌。大正六年から昭和十九年まで『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』『台湾警察』と改題を経て、総三三八号刊行された。
■本体18,000円(A5判・上製クロス装・ケース入り)

中島利郎・宋宜静編 本誌は、台湾総督府機関誌の中で最大の雑誌。『台法月報』(一七冊)、『法院月報』(四四冊)、及びその改題誌『台法月報』(四四三冊、合わせて全五〇四冊の総目録。植民地法制史研究に必備の工具書。
■本体18,000円(A5判・上製クロス装・ケース入り)

綠蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

日本植民地文化運動資料 1～12

植民地満洲の學術・出版の真相を克明に記録、昭和激動期の文化状況を伝える綜合書評誌／

1 書香

全8巻・別冊1 満鉄大連図書館編
大正14年4月・昭和19年12月刊 全56冊
解題 稲村徹元 本体価格140,000円

満洲文芸、北方文化に関する貴重な記事・作品、文獻・資料を紹介した綜合文化誌／

2 北窓

全5巻・別冊1 満鉄哈爾濱図書館編
昭和14年5月・昭和19年3月刊 全26冊
解題 西原和海 本体価格80,000円

満洲史、清朝史、対露交渉史など質の高い研究論文を多数所収。東北アジア史研究に必須／

3 收書月報

全8巻・別冊1 満鉄奉天図書館編
昭和11年2月・昭和18年9月刊 全91冊
解題 小黒浩司 本体価格132,000円

満洲文化の向上を企図して刊行された唯一の読書雑誌／

4 満洲讀書新報

全2巻・別巻1 満洲讀書同好会編
昭和11年1月・昭和20年4月刊 全95冊
解題 西原和海 本体価格40,000円

日本植民地最大にして戦前では日本最大の図書館報。待望の完全復刻版／

5 文獻報國

全12巻・別冊1 朝鮮総督府図書館編
昭和10年10月・昭和19年12月刊 全10冊
解題 藤田豊 本体価格240,000円 品切

日中戦争期の中国研究に欠けていた學術・文化史的側面の資料を埋める貴重な記録／

6 中國文化情報

全6巻・別冊1 上海自然科学研究所編
昭和12年5月・昭和16年12月刊 全31冊
解題 岡部洋 本体価格108,000円

日本帝國主義による、満洲国支配の形態と「協和会」の全容解明に久しく待たれた第一級史料／

7 協和運動

全20巻・別冊1 満洲帝國協和会編
昭和14年6月・昭和20年4月刊 全68冊
解題 風間秀人 本体価格400,000円

朝鮮における皇民化・内鮮一体を促進し、總督府の文化統治政策を担った聯盟の機關誌／

8 總動員

全4巻・別冊1 国民精神總動員朝鮮聯盟編
昭和14年6月・昭和19年12月刊 全19冊
解題 宮田節子 本体価格72,000円

内鮮一体の融和を標榜する一九二〇年代の朝鮮統治に批判的な論陣を張った稀有な雑誌／

9 朝鮮時論

全2巻・別冊1 朝鮮時論社編
大正15年6月・昭和2年9月刊 全10冊
解題 高柳俊男 本体価格38,000円

満洲及び日本植民地下の放送事業の全体像を知ることのできる貴重な年鑑／

10 満洲放送年鑑

全2巻 満洲電信電話株式会社編
昭和14年版・昭和15年版 全2冊
解題 北山節郎 本体価格36,000円

戦時下、朝鮮最大の文芸雑誌。日本近代文学の暗部を照らす「植民地文学」の第一級資料／

11 國民文學

全12巻・別冊1 人文社編
昭和16年11月・昭和20年5月刊 全39冊
解題 大村益夫 本体価格228,000円

太平洋戦争末期台湾の代表的プロパガンダ誌。当時の台湾社会や時代精神を知る貴重な雑誌／

12 旬刊台新

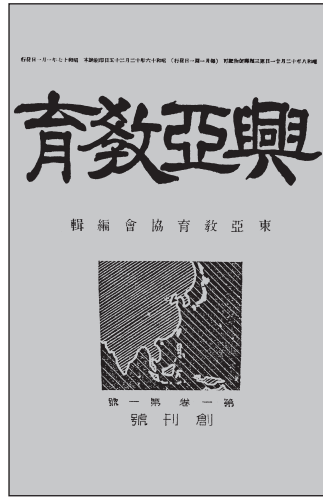
全2巻・別冊1 台湾新報社編
昭和19年7月・昭和20年2月刊 全22冊
解題 河原功 本体価格48,000円

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

学界・教育界を総動員して
日本植民地教育の絶頂期の
言説を示した国策雑誌。

興亜教育



本誌は、大東亜共栄圏期に日本帝国の教育理論（大東亜教育論）や教育政策を論じ、日本やアジア各地の教育事情を詳しく報じた雑誌。今回小社は、『興亜教育』とその改題誌『教育維新』全三九冊を完全収録し、復刻刊行する。

本書の構成

- 1巻 1巻1号（17年1月）～1巻3号（17年3月）全3冊
 - 2巻 1巻4号（17年4月）～1巻6号（17年6月）全3冊
 - 3巻 1巻7号（17年7月）～1巻9号（17年9月）全3冊
 - 4巻 1巻10号（17年10月）～1巻12号（17年12月）全3冊
 - 5巻 2巻1号（18年1月）～2巻4号（18年4月）全4冊
 - 6巻 2巻5号（18年5月）～2巻9号（18年9月）全5冊
 - 7巻 2巻10号（18年10月）～3巻3号（19年3月）全6冊
 - 8巻 3巻4号（19年4月）～4巻4号（20年4月）全12冊
- 8巻——3巻9号より『教育維新』に改題される

刊行概要

- ▼佐藤広美（東京家政学院大学助教授） 監修・解説
- ▼東亜教育協会編
- ▼全39冊（昭和17年1月～昭和20年4月刊）
- ▼全8巻十別冊1（解説・総目次・執筆者索引）
- ▼A5判・総3500頁・上製クロス装
- ▼定価＝定価＝揃本体140,000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-506-0

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

『赤い鳥』系の文芸主義と拮抗し、全国の子供たちに当時最も
読まれた幻の学年別児童雑誌が八十年の歳月を越えて甦る！

監修 中内敏夫（一橋大学名誉教授）——全巻完結

復刻 鑑賞文選 綴方讀本

- 巻数 全16巻（総568冊・総22,000頁）・別巻1
- 体裁 A4判（一頁に原本四頁を収録）上製クロス装ケース入り
- 定価 揃本体398,000円＋税 ISBN978-4-8974-51-X C3337
- 別巻のみ分売可 本体18,000円＋税 ISBN978-4-8974-532-9 C3337



作文・綴方教育史・
児童文学史の欠落
部分を補う幻の
雑誌の復刻

日本人の
忘れられた記憶、
ぬり込められた
体験の数々を
端ばしに秘める

まさに壮大な作文・
綴方教育のパノラマ



●解説 梶村 光郎（琉球大学教授）

平岡さつき（共愛学園前橋国際大学准教授）

上 笹 一郎（児童文学研究者）

●推薦 大田 堯（東京大学名誉教授）

竹内常一（國學院大学名誉教授）

中野 光（中央大学名誉教授）

野地潤家（広島大学名誉教授・日本国語教育学会顧問）

三上達也（日本作文の会常任委員長）

大正～昭和の児童文化・社会に大きな影響を与えた生活綴方の原点

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼現代日本教育の「格差・貧困」「発達・障害」を考える原典史料！

史料・日本近代と「弱者」

第1集

◆編集復刻版◆

高橋智（東京学芸大学教授）・前田博行・石川衣紀編

特別支援・特別ニーズ教育の源流

鈴木治太郎の教育改革と適能教育論

近年の日本では子どもの生活と学習・発達をめぐる「格差・貧困」の諸問題が激化・深刻化しており、子どもの多様な貧困・ニーズへの十全な対応と発達保障に向けた新たな教育Ⅱ特別支援教育の創出がめざされている。本史料集は戦前に大阪師範付属小主事で大阪市視学となった鈴木治太郎が取り組んだ「連の特別な教育的な配慮（適能教育）」を「生活の貧困」「発達の貧困」という二つの教育問題への対応策として再評価し、明治・昭和の児童の多様な貧困・ニーズを鈴木がどの様に把握・認識し、どの様な教育対策・指導法を開発したかを提示し、その現代的意義・教育の原点等を明らかにすることを意図するものである。

◆配本概要▼

◆第一回配本 ◆揃定価Ⅱ本体六〇、〇〇〇円

第1巻 明治期の画一的教育批判と「特別学級」の試み

大正期大阪の都市教育問題1

第2巻

大正期大阪の都市教育問題2

戦前における鈴木治太郎の小学校教育改革

高橋智・石川衣紀・前田博行著

実践と特別な教育的配慮のシステム開発

◆第二回配本 ◆揃定価Ⅱ本体八〇、〇〇〇円

第3巻 知能測定法標準化実験1

第4巻 知能測定法標準化実験2／付録

第5巻 大阪市特別学級編制1

第6巻 大阪市特別学級編制2

◆第三回配本 ◆揃定価Ⅱ本体六〇、〇〇〇円

第7巻 大阪市特別学級編制3

第8巻 知的障害児教育の制度化

第9巻 「優秀児」調査・研究／付Ⅱ鈴木治太郎・喜田正春往復書簡集抄録

◆A5判・上製・総約四、〇〇〇ページ

◆揃定価Ⅱ本体一〇〇、〇〇〇円＋税〔分売不可〕

ISBN978-4-89774-542-8

◆推薦Ⅱ木村 元（一橋大学大学院社会学研究科教授）

◆おすすめしたい方

日本教育史・障害者教育史・社会事業史・心理学史の研究者、大学・公共図書館、教育研究機関など

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

教育新聞

戦後最初の教育新聞。志垣寛主宰、教育新聞社刊。昭和20年12月〜22年5月「全71号」。戦後初期の教員の生活や政治意識の実態、教育の民主化や新教育の実践の動向、大日本教育会の解散や教員組合運動の動向、子供の実態等の記事を幅広く収録。全1巻〔復刻版・A4判・上製クロス装〕

梶村光郎監修／解説 本体29,000円 978-4-89774-505-3

戦前教育科学運動史料

戦前の民間教育研究運動の最後の拠り所となった教育科学研究会の機関誌『教育科学研究所』と山下徳治編集の『教材と児童学研究』を収録。総力戦体制下の民間教育運動の課題 状況を知る第一級の史料。

全2巻〔編集復刻版・A5判・上製クロス装〕

佐藤広美・高橋智編／解説 本体32,000円

978-4-89774-501-5

資料日本の戦後教育改革

本資料は『松本喜美子資料』の中核であるIFELの実態資料と神奈川の新教育の実践資料を中心に編纂。昭和20年代から30年代初めの戦後教育改革実施期における各種の解説書、報告書、会議記録など珠玉の史料満載。

全5巻〔編集復刻版・B5判・上製クロス装〕

佐藤広美編／解説 本体100,000円 978-4-89774-502-2

教育関係資料

國語創造

志垣寛主宰の本誌は、戦後いち早く発行された国語教育雑誌。昭和21年から24年まで全13冊刊行され、戦後初期に推進された民主的な国語教育の状況を伝えた。戦後国語教育史研究・生活綴方教育史研究等に不可欠の文獻。

全2巻・別冊1〔復刻版・A5判・上製クロス装〕

梶村光郎監修／解説 本体39,000円 978-4-89774-504-6

農村教育研究

大西伍一を中心に下中弥三郎、江渡秋嶺、土田杏村など多数の教育実践家が参加した農村教育研究会の「研究雑誌」である。当時の政治・教育思想を知るための不可欠の文獻。原本の所蔵機関はわずかで全巻揃いの所はない。

全3巻・別冊1〔復刻版・A5判・上製クロス装〕

小林千枝子監修／解説 本体57,000円 978-4-89774-503-9

教育科学

本誌は1947年に同学社に設立された教育科学研究会が創刊し、通算30号発行されたが、原本散逸のためこれまでほとんど言及されてこなかった「幻の教育雑誌」。戦後初期の教育史研究にとって決して見逃せない注目すべき資料。

全4巻・別冊1〔復刻版・A5判・上製クロス装〕

梶村光郎監修／解説 本体98,000円 978-4-89774-507-7

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

陸軍に関する諸法規及び関連諸資料を網羅した「陸軍法令全書」!

▼陸軍大臣官房編纂による日本陸軍の根幹資料

「陸軍成規類聚」資料集成

森松俊夫(監修)／松本一郎(編・解説)

全4集

▼〈第一集〉

陸軍成規類聚

昭和版

陸軍大臣官房編纂
底本 昭和一九年八月第三六版

■本書の構成

第一巻▼第一類憲法・皇室／第二類官制 第一巻上▼第三類兵役・召集・補充 第二巻下▼第四類官等・分限・補任・名簿／第五類賞典・恩給・救恤／第六類(服務・休暇 第三巻▼第七類會計・經理 第四巻▼第八類教育・検閲・演習／第九類儀礼・婚姻・葬祭／第十類(服制・徽章／第十一類(兵器) 第五巻▼第十二類(衛生・医事)／第十三類馬政／第十四類運輸・通信／第十五類警保・徴発 第六巻▼第十六類(刑罰・監獄／第十七類(文書・報告／附録 別巻▼索引・解説他

「陸軍成規類聚」とは、陸軍に関する諸法令・諸規則すなわち法律・勅令・軍令・省令・訓令・達・告示・陸普(通牒)などを関連項目ごとに類別して編纂、陸軍のあらゆる活動の基準となつた根拠文書であり、巨大組織「日本陸軍」の機構を支えた法令集である。小社では、日本陸軍の(組織・制度・人事・教育等)を研究する上で不可欠な本史料を「昭和版」「別冊」「明治版」として公刊する。また、「陸軍成規類聚」の概説書として「研究資料」を付した。

■主な法令・法規等の一部

大日本帝国憲法・皇室典範・内閣官制 陸軍省官制・帝國在郷軍人会規程・陸軍航空本部令・陸軍兵器行政本部令・陸軍技術研究所令・參謀本部条例・教育總監部令・大本營令・陸軍兵事部令・俘虜情報局官制・俘虜收容所令・軍指令部令・憲兵令・憲兵服務規程・関東軍司令部条例・軍隊内務令・陸軍士官学校令・陸軍兵器学校令・兵役法・陸軍補充令・陸軍順位令・陸軍武官進級令・陸軍志願兵令・陸軍召集規則・恩給法・軍事扶助法・官吏服務紀律・軍隊經理規程・化学兵器手当支給規則・俘虜給与規則・軍隊教育令・憲兵隊教育綱領・陸軍札式令・陸軍服制・陸軍服裝令・兵器要務書・平時携帯兵器表・陸軍伝染病予防規則・赤十字条約解釈・軍馬資源保護法・軍事郵便規則・国防保安法・治安警察法・軍機保護法・軍用資源秘密保護法・要塞地帯法・防空法・燈火管制規則・戒厳令・國境取締法・徵発令・國家總動員法・陸軍徵用規則・戰時刑事特別法・陸軍懲罰令・陸軍刑法・陸軍司法警察執務心得・俘虜処罰法・陸軍軍法會議法・陸軍監獄令・陸軍公文書規則・陸軍報告規程等々

■「昭和版」の特色

▼底本とした原本は陸軍大臣官房圖書閲覧室所蔵版で、戦後には「法制改廃委員」が使用したものである。

▼原本は全六巻であるが、復刻版では、第一巻を2分冊として、全七巻とした。

▼別巻には解説のほかに、第一巻登載の「索引」を収録した。また、各巻の冒頭にある目次を複写集成し「類別総目次」として利用者の検索の便を図つた。附録資料として昭和二〇年の重要「法令」を収録した。

▼「昭和陸軍」の全貌(制度・組織・機構等)を解明するための基本資料である。

■刊行概要

復刻版

▼全7巻・別巻1(解説・附録資料・類別総目次・索引・イロハ索引)

▼総7700頁／A5判・上製・クロス装・ケース入り

▼揃本体180,000円 ISBN978-4-89774-286-1

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

▼〈第一集〉

軍事 秘密 陸軍成規類聚 別冊

陸軍大臣官房編纂／底本 昭和一六年版

■「別冊」の特色

▼昭和一六年に発行された本書（全二巻）は、成規類聚で公開できない軍事秘密の軍令・通達などを収録する。底本は信行社所蔵版。最終追録第二回（昭和一九年一月）。

▼本書は、その存在すら知る人が少ない。国会図書館にも収納されていない本邦初公開の文献であり、軍制に関する新たな研究の糸口となるであろう。

■全一巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総1000頁／本体28,000円
ISBN978-4-89774-294-6

▼〈第二集〉

陸軍成規類聚 明治版

陸軍大臣官房編纂／底本 明治四四年二月第六版

■「明治版」の特色

▼陸軍では最初の加除式による「明治四〇年版」を基盤とする第六版（明治四四年・全一巻）を底本（靖国信行文庫所蔵）とした。日露戦争後の陸軍軍制を知る上で必須の資料である。

▼本書（第六版）は第三〇回追録まで加除済の台本で、幸いにもその後の追録加除が全くなされていない。したがって、収録法令等すべてが発行時現在（四四年）のものである。

▼各類には「質議回答録」が附録として収録され、利用者の便に役立つ。原本は全二冊（総三二六〇頁）であるが、複製版では、三分冊とした。

■全3巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総6600頁／本体60,000円
ISBN978-4-89774-295-3

日本陸軍史・軍事史・戦史・近現代史・昭和史・法制史研究の基礎文献

▼〈第四集〉

「陸軍成規類聚」研究資料

収録資料

- I 「陸軍軍制史梗概」山崎正男著／底本「国家総動員史・史料篇」
- II 「山崎正男氏対談記」底本・雑誌「偕行」
- III 「陸軍軍制史話（原題「軍制もやま話」）／底本・雑誌「偕行」

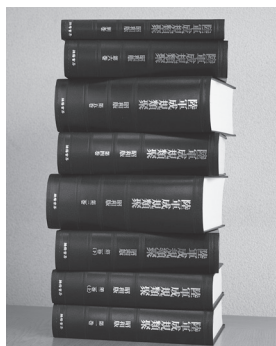
■「研究資料」の特色

▼山崎正男氏（明治三十一平成五）は陸士三期で長年、軍制にかかわる業務に従事され、戦後においても復員に伴う法制の改廃業務に関係された。緻密な頭脳と抜群の記憶力の持ち主で、成規類聚の神様・生き字引と称された。成規類聚の研究者としては、この人の右に出る者はいない。

▼「陸軍軍制史梗概」は、成規類聚に沿って軍制を概説する。陸軍研究上必須の文献。

▼「山崎正男氏対談記」と「陸軍軍制史話」には、著者ならではの軍制全般に関する興味深い話が詳細に展開されており、読む人をして飽きさせない。まさに、昭和陸軍軍制史評論ともいえる好著であり、久しく復刻が待望されていた文献である。

■全一巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総880頁／本体18,000円
ISBN978-4-89774-299-1



◆推薦します

山本卓眞
（偕行社会長）

大東信祐
（元防衛研究所戦史部長）

宮崎繁樹
（明治大学元総長・名誉教授）

原剛

（軍事史学会副会長）

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

▼知られざる軍法会議の実態！
今回、初めて軍法会議の裁判記録（判決書）を関連資料と併せて刊行する！

陸軍軍法会議 判例集

全四巻

推薦 遠藤芳信（北海道教育大学 函館校教授）
山本政雄（防衛大学校 防衛学教育学群准教授）
体裁 A5判・上製・クロス装・ケース入り・総3400頁
定価 本体90000円＋税（分売不可）
ISBN978-4-89774-311-0

松本一郎編・解説（獨協大学名誉教授）

▼現代の日本では、軍法会議といえば、
憲兵制度とともに、戦前の旧陸海軍における
非人道的な統治システムとしての

イメージが想起され、また戦後は、軍法会議が
存在しないという事情と、当時の裁判資料の
欠如により今日までその実態は知られてない。

▼今回の新発掘した裁判記録が軍法会議の
本格的研究の端緒となることを期待したい。

—本資料集の構成—

- 1 陸軍軍法会議判決録 第一巻 松島邦夫編
 - 2 陸軍軍法会議判決録 第二巻 松島邦夫編
 - 3 陸軍高等軍法会議判例集 憲警研究会編
 - 4 陸軍高等軍法会議判決要録 陸軍高等軍法会議編
- ◆参考資料（4巻に収録）
陸軍刑法・陸軍軍法会議法
◆関連資料（4巻に収録）
陸軍軍法会議関係諸法規
陸軍刑法部長会同決議綴
軍法会議法研究 近衛師団軍法会議
陸軍軍法会議廃止に関する顛末書 復員局

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

▼事件の全体像を把握する上で不可欠な第一級一次史料である
『判決書綴』『訴訟記録目録』の原本を公刊する！

▼本資料の内容と刊行の意義

▼今回刊行する「判決書綴」・「訴訟記録目録」は、東京地方検察庁が保管する

「原本」のコピー版である。

▼「訴訟記録目録」は、今回初めて公刊する資料である。

▼「訴訟記録目録」は、二・二六事件訴訟記録原本（全六六巻及び別冊）の内、五三巻までの各記録目録を収録した。（五四巻以降は不起訴処分者の記録）

松本 一郎編

二・二六事件裁判原本資料 全2巻

二・二六事件判決書綴 二・二六事件訴訟記録目録

東京陸軍軍法会議



体裁 一頁四面付・B5判・上製クロス装
定価 本体36000円＋税（分売不可）

ISBN978-4-89774-317-2 C331

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

開戦・終戦時における日本の 対外報道と米国傍受記録集成

北山節郎編・解説

太平洋戦争 メディア資料

全2巻

Ⅰ開戦—真珠湾攻撃と対外報道
Ⅱ終戦と対外報道

本書の構成

太平洋戦争メディア資料Ⅰ

I 解説

- 一 「ハワイ奇襲第一報」——消された？大本営発表
開戦ニュース／ハワイ攻撃発表／香港攻撃発表／開戦
詔書発布時間／付録～太平洋戦争開戦大本営発表文比較
- 二 米傍受記録に見る12月8日の日本側報道米側傍受記録
／トランスクリプト研究
- 三 「ニシノカゼ ハレ」
ウインド・メッセージの原文は？／フルテキストさが
し／天気予報傍受
- 四 極東国際軍事裁判と開戦の放送
放送録音盤と録音記録／ラヂオ報道記録「報道部ニュー
ース係」ヨリ／抜粋
- 五 同盟報道

Ⅱ資料——68件収録（次頁参照）

太平洋戦争メディア資料Ⅱ

I 解説

- 一 ニつのラジオ・トウキョウ
- 二 黙殺
ボツダム宣言傍受／外国紙が伝えた第1回黙殺報道／

鈴木首相の「黙殺」発言／トルーマンが読んだ傍受記
録とは？

三 原爆

FBISが記録した同盟の「第1報」／東亜放送の広
島被爆連続報道／トルーマンの原爆投下声明

四 ソ連参戦

ソ連参戦を海外に速報／ラジオ・トウキョウも速報／
戦闘第一報／大本営発表

五 最初の「聖断」と広島その後

公電発信時間の疑問／米軍の外交電報解読／傍受され
ていた国内放送／原爆抗議

六 待つ日々

米側回答／回答を待つアメリカ

七 8月15日

ボツダム宣言正式受諾／アメリカが記録した玉音放送
／米海軍が翻訳した終戦詔書／大屋久壽雄の知られざ
る大放送

八 敗戦直後の日本とメディアの解体

原爆被害キャンペーンとアメリカの反発／ラジオ・ト
ウキョウ海外放送中止／特派員情報ストップ／同盟解体

Ⅱ資料——241件収録（次頁参照）

刊行概要——

- ◆ 体裁 B5判・上製クロス装・ケース入り
- ◆ 定価 揃本体 68,000円＋税（分売不可）

すいせん——

有山輝雄（成城大学教授） 竹山昭子（昭和女子大学教授）
向後英紀（NHK文化放送研究所） 田村紀雄（東京経済大学教授）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

◆北山節郎編

太平洋戦争放送宣伝資料

戦時期の放送は国家の宣伝機関であつた。情報局が対敵電波戦を指導し、最初は大東亜戦争目的の正当性と「大東亜建設」の真義を欧米、アジア各地に伝えた。本資料集所収の『海外放送講演集』『対敵電波戦』は対外宣伝戦の中心をなす「講演放送」の全貌を明らかにする貴重な資料。戦時メディア史、日本の大東亜戦争観を示す一次資料。

◆本書の構成

- 第1巻Ⅱ部外秘『海外放送講演集』第二号 昭和17年6月
第2巻Ⅱ部外秘『海外放送講演集』第三号 昭和17年9月
第3巻Ⅱ部外秘『海外放送講演集』第四号 昭和17年12月
第4巻Ⅱ部外秘『対敵電波線』第一号 昭和16年12月～17年11月

◆体裁

A5判・上製クロス装・総1、300頁・ケース入り

◆定価

本体価格64,000円＋税

ISBN978-4-89774-235-9

◆推薦

内海愛子「恵泉女学園大学教員」

櫻本富雄「詩人」

竹山昭子「メディア史研究」

戦前の新聞には反映されることがなかった「日本及び世界」の記録

同盟旬報 目次総覧

北山節郎監修・解説

同盟通信社編 昭和12年から終戦迄の「同盟旬報」の「記事目次」を収録。戦時メディア史、昭和史研究の基礎資料。とくに日中戦争史の記録は克明である。

全2巻(上巻・下巻)／本体価格48,000円／ISBN978-4-89774-022-5

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

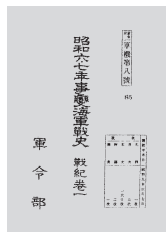
はじめて公開される満州事変・上海事変の海軍正史。

昭和六七事変海軍戦史

全四巻
別巻一

軍機 海軍軍令部編／監修・解説Ⅱ田中宏巳・影山好一郎

本資料の特色



刊行概要 復刻版(A5判・上製クロス装綴 二六〇頁折込含む)

- 第一巻＝戦紀巻一(軍機) 三三六頁
- 第二巻＝戦紀巻二(軍機) 一〇四八頁
- 第三巻＝戦紀巻三(軍機) 三三六頁
- 第四巻＝付録 国際関係(秘) 六一四頁
- 別巻＝総目次(軍機)十解説 約三三〇頁
- 定価 揃本体九八、〇〇〇円十税(分米可)



田中宏巳(たなかひろみ)
一九四三年 長野県松本市生まれ
一九七四年 早稲田大学大学院博士課程
満期退学。現在、防衛大学校教授
(主要著作)
『東郷平八郎(ちくま新書 筑摩書房) 他



影山好一郎(かげやま・しゅういちろう)
一九四二年 大阪府大阪市生まれ
一九七一年 防衛大学校及び研究科卒業
現在、防衛大学校教授
(主要著作)
『近代日本戦史(共著 同台経済懇話会編) 他

関連書

第二復員局残務処理部編

太平洋戦争開戦前史

開戦迄の政略戦略

◆オーストラリアに残る旧日本軍資料の全貌を明かす新資料

オーストラリア国立戦争記念館所蔵 旧陸海軍資料目録

田中宏巳編 本書は、連合軍がニューギニア戦線と捕獲・蒐集した資料と戦後のラバウル収容所の生活に関する資料の目録と解説を収録。太平洋戦史、敗戦後の抑留・引き揚げ史研究のための貴重な手引き書。
本体15,000円(B5判・上製クロス装)

田中宏巳監修 本書(原題「開戦迄の政略戦略」)は、米国議会図書館所蔵、日本の公文書及び検閲資料に収録された復員局報告書の一部をなすもので、今回全文を初めて公開する。日本軍部主として海軍側から太平洋戦争開戦の原因を戦後、公式に総括した最初の歴史的な文書である。
本体16,000円(A5判・上製クロス装)

■本戦史には敗戦直後の焼失によって、今日現存しない多数の貴重な文書・史料が含まれ、又上海事変をとりまく国際関係文書を多数収録している。

■今回の出版によって、満州事変・上海事変の厚いベールに包まれていた史実の詳細が初めて明らかになった。満州事変・上海事変の戦史研究はもとより、国際政治史、外交史、在華邦人史、抗日運動史等に欠かせない正に第一級の資料である。

■今回本書には、軍機を中心資料である『戦紀巻一・巻二・巻三』とその補完資料『付録』国際関係・国際関係参考文書』及び『総目次』を収録した。

■資料の価値を考慮し、原則として、影印復刻とした。又、別巻に解説を付し、利用者の便をはかった。

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

田中宏巳編・解説

BC級戦犯 関係資料集

日本人は戦犯問題とどう向きあったのか。戦犯裁判と釈放の経緯と実態を新発掘資料と外務省所蔵資料で実証する。太平洋戦争における戦犯関係の基本資料であり戦後国際政治史・外交史研究にも欠かせない重要資料。

■第1・2巻は新発掘資料／陸軍関係戦犯者の出身地・裁判地・罪名・判決・服役地・釈放・家族の情報を都道府県別に網羅した唯一の資料 ■第3～6巻は連合国各国の戦犯裁判の問題・実態をはじめ釈放の経緯や問題点を時系列で理解できる様に資料を構成した。

第1巻 ■戦争裁判と諸対策並びに海外における戦犯受刑者の引揚

[厚生省引揚援護局法務調査室編[復刻版]

[定価 本体 15,000 円 ISBN978-4-89774-313-4

[体裁 B 5 判・上製・約 340 頁

第2巻 ■陸軍関係戦犯者名簿 1・2

[厚生省復員局調査部編[復刻版]

[定価 本体 25,000 円 ISBN978-4-89774-314-1

[体裁 B 5 判・上製・総 774 頁 (原本 1,548 頁。2 頁を復刻版 1 頁に 2 面付)

第3～6巻 ■BC級戦犯裁判・釈放関係資料集

[田中宏巳編／外務省外交史料館所蔵資料[編集復刻版]

[揃定価 本体 90,000 円 ISBN978-4-89774-315-8

[体裁 B 5 判・上製 総 2,300 頁 (原資料 9,200 頁。4 頁を復刻版 1 頁に 4 面付)

全 6 巻*揃定価 本体 130,000 円

ISBN978-4-89774-312-7

●おすすめしたい方
・日中戦争史研究者、太平洋戦争史
・外交史・法学研究者、国際政治史・
・アジア史研究者、日本近現代史
・大学図書館など

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

■原資料で綴る一九五四年から六〇年までの
初期の原水禁運動のドキュメント。

■戦後日本の平和運動・民衆運動の原点。そ
の貴重な歴史的資料を初めて集大成。

刊行の辞

戦後日本の反核・平和運動は半世紀にわたり、国内はもとより世界の平和実現のために大きな貢献を果たしてきた。一九五四（昭和二十九）年三月、アメリカのビキニ環礁での水爆実験によって焼津の漁船第五福龍丸が被爆した。核実験に対する反対の声は、広島・長崎の被爆者はもちろん、杉並の女性たちを先頭にあらゆる階層、分野の人々、団体、自治体に広がり全国民的な運動に発展した。原水爆禁止署名運動に参加した二十万人を越える市民の怒りは世界を動かし、ついに翌五五年八月、原水爆禁止世界大会が開催された。戦後最大の原水爆禁止署名市民運動はその後の市民平和運動の原点となった。

本資料集は一九五四年～六〇年の運動の資料を各年一巻に収録、二期全七巻（第一期は一九五四年～五七年、第二期は一九五八年～六〇年）を刊行する。原水爆禁止運動の態様がさまざまのように、残された資料も多岐にわたっている。ここに収録された資料のすべては、原水爆禁止運動の初期に展開された運動のなかから生みだされたものである。原水爆禁止署名運動全国協議会や原水爆禁止日本協議会（日本原水協）に寄せられ各地の諸資料、世界大会日本準備会、原水協の内部・組織資料、各世界大会関連資料、故広田重道氏の「平和運動資料」、杉並関係者の資料等の中から精選し、主として運動の時間的経過にしたがって整理し、合わせて地域的な活動の様相や運動の広がりがかかるように編集した。資料集自体で各年の原水禁運動のドキュメントとして読めるようにした。また各巻に年表と当時の運動の写真（口絵）を収録、更に「昭和二〇年～三二年四月原水爆実験等に関する文献一覧表（雑誌記事の分）」（第四巻末所収）を補足し、運動を立体的に理解できるようにした。

本資料集は未開拓の部分の多い戦後日本の平和運動史研究の基本資料となるものであり、戦後の民衆運動史、女性運動史研究にとっても貴重な資料といえよう。大いに活用していただきたい。

原水爆 禁止運動 資料集

小林徹編・解説

第一期「一九五四～五七」四巻 定価88,000円
第二期「一九五八～六〇」三巻 定価66,000円

体裁 全7巻・B5判・上製クロス装・ケース入り
（解説は第一巻・第五巻に収録）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼虐げられた者の生活と魂の救済に生きたハルの初の史料集

賀川ハル史料集

全3巻

三原容子編・解説

第1巻

I ハル誕生から神戸スラムへ

1888(明治21)～1912(大正元)

II 神戸スラム・横浜時代

1913(大正2)～1923(大正12・9)

第2巻

III 東京本所・松沢時代

1923(大正12・9)～1926(大正15・9)

IV 兵庫・瓦木「現・西宮市」時代

1926(大正15・10)～1929(昭和4・10)

V 東京・松沢時代・戦前期

1929(昭和4・11)～1945(昭和20・8)

VI 東京・松沢時代・戦後期Ⅰ

1945(昭和20・9)～1955(昭和30)

第3巻

VII 東京・松沢時代・戦後期Ⅱ

1956(昭和31)～1982(昭和57)

◎賀川豊彦献身100年記念

豊彦のよき伴侶であり、最大の協力者であったハルは、夫と共に社会運動・婦人運動等に尽力した。大正期、神戸のスラムに住み、貧民の救済・伝道活動、関東大震災の救護活動にあたる。同時に、日本で最初の職業婦人・婦人労働者を組織した「覚醒婦人協会」を設立した。三児の母親として家庭を守りながら、戦前・戦後、伝道と社会事業に命を捧げた。

〈本書の特色〉

◆一八八八～一九八二のハルの生涯を、初公開の日記(新組)、手稿(新組)・雑誌新聞論稿、回想・証言資料・書簡等によって編年的に再現した。

◆近代女性運動史・福祉・社会事業史・キリスト教運動史の一次史料。

〈刊行概要〉

●体裁・頁数―B5判・上製・総二七六頁

●推薦―瀬戸内寂聴・加山久夫・加藤重

●掟定価―本体八〇、〇〇〇円＋税 ISBN978-4-8974-281-6

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

① 賀川豊彦個人雑誌「大正11年〜昭和15年」雲の柱

本誌は、賀川の著作のオリジナルはもとより、その他数多くの随筆・評論が収録されており、賀川の思想と行動を伝える原資料。賀川研究者にとつてはまさに座右の書である。また、近代日本の民衆資料としても第一級史料といえる。

■復刻版(A6判・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
全19巻・別冊1/本体240,000円

② キリスト教ジャーナルの原点「昭和5年〜昭和17年」神の國新聞

本誌は昭和初期、賀川を中心に日本のキリスト教界が力を結集して全国に展開した「神の國運動」の機関紙。補巻に「神の國運動日誌」を収録した。一九三〇年代の日本キリスト教界の動向を知る重要な資料でもある。

■復刻版(A4判・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
全10巻・補巻1・別巻1/本体237,000円

③ 『雲の柱』の姉妹雑誌「大正15年〜昭和35年」火の柱

本誌は大正一〇年、賀川が創立した「イエスの友会」の機関紙。『雲の柱』廃刊以降、賀川の足跡を詳細に伝えた。別巻には、『イエスの友会報』も合わせて収録。イエスの友会を知る基本資料。

■復刻版(B5版・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
全4巻・別冊1/本体74,000円

④ 平和運動・世界連邦運動の機関誌「昭和22年〜昭和30年」世界國家

敗戦直後、賀川は日本を道義的平和国家に導くため、「国際平和協会」を設立。以降、平和運動・世界連邦運動の中心的役割を果たした。本誌はこの一連の運動の機関誌であり、今日の世界の平和問題を考える上での基本資料。

■復刻版(A5判・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
全7巻/本体110,000円 別冊1(別冊は品切れ)

⑤ 賀川豊彦初期史料集

初期賀川の実像に迫る「明治39年〜大正3年」

本書は、賀川が神戸の貧民窟において伝道生活・救済事業を始めた時期に書いた「初期日記・ノート類」などの自筆文獻を中心に収録。賀川の内面を知る上での根本資料のみならず、社会事業史研究、近代部落問題研究等にとって大事な遺産。

■復刻版(B5判・上製クロス装・ケース入り)
全1巻/本体265,000円

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

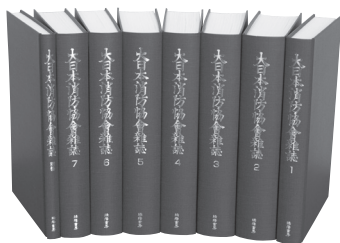
草創期の日本の消防・防災の実情と足跡を記録した貴重な歴史的資料。

大日本消防協會雜誌

全7巻
別巻1

大日本消防協會編〈復刻版〉 鈴木 淳（東京大学大学院教授） 解説

原本（創刊号）の表紙



本資料の特色

- 1 消防雑誌の嚆矢である本誌を、創刊号（明治三十六年七月）から第七一号（明治四四年一〇月）まで、中断後に再刊した一四冊を含む総六九冊を収録した。
- 2 本誌には、町火消の有名人の紹介、出初式の様子、全国各地の火災事例、第一線の消防の実情など多彩な記事が克明に記録されており、草創期の日本消防の歴史や当時の災害・防災の状況が分かる貴重な文献である。
- 3 本誌は、消防界の中心的な役割を担った学者や専門家の論説・論文及び海外情報を数多く掲載。消防行政のあり方を示し、黎明期の日本消防を主導した先駆誌である。
- 4 本誌には、口絵が多数収録されており、当時の状況をリアルに映し出している。
- 5 本誌の足跡は、そのまま近代日本の消防沿革史である。
- 6 別巻には詳細な「解説」と「目次総覧」「事項別総目次」「執筆者別主要記事索引」を付した。

◆推薦者（五十音順）

秋本敏文／大江秀敏
岡崎浩巳／襲田正徳
小林恭一／小林輝幸
関澤 愛／長谷川彰一

◆刊行概要

■全7巻 創刊号（明治36年7月）～第71号（明治44年10月）
■別巻 解説・目次総覧・事項別総目次・執筆者別主要記事索引
■体裁 A5判・上製クロス装・ケース入り・総4,700頁
■定価 前本体150,000円＋税（分売不可）
ISBN 978-4-68774-299-5 C3821

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

近代日本に多大な影響を与えた報徳思想と報徳運動の歩みを克明に記録した唯一最大の機関誌。二宮尊徳の報徳思想、日本報徳運動史を知る根本史料。今、その貴重な先人達の足跡を後世に残す。



日本報徳運動雑誌集成

全47巻●別巻1 ●収録雑誌―大日本帝国報徳／大日本報徳学友会報／報徳の友／大日本報徳／勸農俚謡集

■本集成をひとたび開いてみれば、様々な観点からの興味が尽きなくなるだろう。近代における中央と地方の問題、国家政策と民間との関係、日本のアイデンティティ、日本人の行動特性、農山漁村の庶民の生活、甲乙種農学校・系統農会・補習学校・信用組合等がなかった頃にそれらの機能先駆的に果たした報徳社の可能性と限界、経済的・道徳的危機に陥った時に一思想に頼ることの可能性と限界、等々……。簡単ににはつかみきれない数多くの命題を解きあかす際に、本集成は必ずや手がかりとなってくれるだろう。

■今回の復刻を契機に、報徳社運動、報徳会運動、報徳運動に対する総合的・客観的な研究の必要性の認識が起こり、関係諸科学の分野の研究者によって真に学際的な研究に発展することを願ってやまない。また、研究者のみならず、報徳実践者、報徳に少しでも興味のある方々に、この『日本報徳運動雑誌集成』は、多くの示唆・問題解決の糸口を与え、実践、研究を深める好材料となるであろう。是非、多くの図書館、関係研究機関で揃えていただきたい。

二宮尊徳像



福住正兄



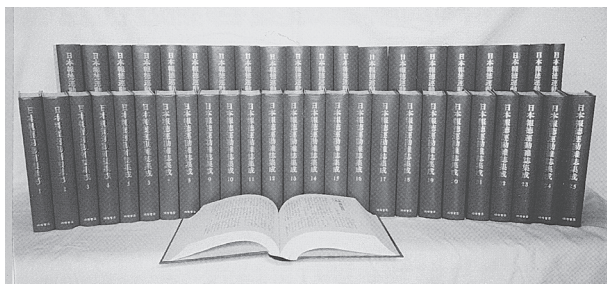
……富田四人の一人二宮親説の著書

富田高慶



……富田四人の一人二宮親説は表作、尊徳の長文を子編輯した。

大日本報徳	
第一十三期	第十八期
第十八期	第二十三期
第二十三期	第二十八期
第二十八期	第三十三期
第三十三期	第三十八期
第三十八期	第四十三期
第四十三期	第四十八期
第四十八期	第五十三期
第五十三期	第五十八期
第五十八期	第六十三期
第六十三期	第六十八期
第六十八期	第七十三期
第七十三期	第七十八期
第七十八期	第八十三期
第八十三期	第八十八期
第八十八期	第九十三期
第九十三期	第九十八期
第九十八期	第十期
第十期	第十一期
第十一期	第十二期
第十二期	第十三期
第十三期	第十四期
第十四期	第十五期
第十五期	第十六期
第十六期	第十七期
第十七期	第十八期
第十八期	第十九期
第十九期	第二十期
第二十期	第二十一期
第二十一期	第二十二期
第二十二期	第二十三期
第二十三期	第二十四期
第二十四期	第二十五期
第二十五期	第二十六期
第二十六期	第二十七期
第二十七期	第二十八期
第二十八期	第二十九期
第二十九期	第三十期
第三十期	第三十一期
第三十一期	第三十二期
第三十二期	第三十三期
第三十三期	第三十四期
第三十四期	第三十五期
第三十五期	第三十六期
第三十六期	第三十七期
第三十七期	第三十八期
第三十八期	第三十九期
第三十九期	第四十期
第四十期	第四十一期
第四十一期	第四十二期
第四十二期	第四十三期
第四十三期	第四十四期
第四十四期	第四十五期
第四十五期	第四十六期
第四十六期	第四十七期
第四十七期	第四十八期
第四十八期	第四十九期
第四十九期	第五十期
第五十期	第五十一期
第五十一期	第五十二期
第五十二期	第五十三期
第五十三期	第五十四期
第五十四期	第五十五期
第五十五期	第五十六期
第五十六期	第五十七期
第五十七期	第五十八期
第五十八期	第五十九期
第五十九期	第六十期
第六十期	第六十一期
第六十一期	第六十二期
第六十二期	第六十三期
第六十三期	第六十四期
第六十四期	第六十五期
第六十五期	第六十六期
第六十六期	第六十七期
第六十七期	第六十八期
第六十八期	第六十九期
第六十九期	第七十期
第七十期	第七十一期
第七十一期	第七十二期
第七十二期	第七十三期
第七十三期	第七十四期
第七十四期	第七十五期
第七十五期	第七十六期
第七十六期	第七十七期
第七十七期	第七十八期
第七十八期	第七十九期
第七十九期	第八十期
第八十期	第八十一期
第八十一期	第八十二期
第八十二期	第八十三期
第八十三期	第八十四期
第八十四期	第八十五期
第八十五期	第八十六期
第八十六期	第八十七期
第八十七期	第八十八期
第八十八期	第八十九期
第八十九期	第九十期
第九十期	第九十一期
第九十一期	第九十二期
第九十二期	第九十三期
第九十三期	第九十四期
第九十四期	第九十五期
第九十五期	第九十六期
第九十六期	第九十七期
第九十七期	第九十八期
第九十八期	第九十九期
第九十九期	第一百期



収録雑誌

大日本帝国報徳明治25・31明治36・39全5巻
大日本報徳学友会報明治37・41大正8・12全16巻
報徳の友大正9・11大正13・15全5巻
大日本報徳大正14・15昭和20・21全20巻
勸農俚謡集明治16・17明治21・25全1巻

刊行概要

A5判・B5判(47巻のみ)／上製クロス装・函入
総606冊／総約35,000頁

解題別巻に収録 前田寿紀

定価 1冊1,400円(税別) 1冊1,400円(税別)

ISBN4-89774-104-1 C3330 ¥940000E

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

国民精神総動員

国民精神総動員中央連盟編 戦時期の民衆総動員体制を確立した国民精神総動員運動の実態を伝えた機関紙（全60号）を完全復刻。3年間にわたる精動の動向を記録した貴重な資料。

■全2巻（B4判・上製クロス装）／本体66,000円

大道

米沢和一郎編 堀井梁歩パンフレット 大正末から昭和にかけて農村の疲弊した現実を目を据え、秋田・東京を舞台に農村・農民の自由と解放を目ざした。現代農民の魂を揺さぶる書。

■全1巻 [全13号]（A5判・上製）／本体20,000円

農民文学

山田多賀子編 日本農民文学会の機関誌『農民文学』に先駆する第一次『農民文学』の完全復刻版。戦前の農民文学の血脈を受け継ぎ、戦後の日本農民文学史の一時期を画す貴重な資料。

■全1巻 [全9冊]（A5判・上製）／本体20,000円

原典

中国アナキズム史料集成

坂井洋史・嵯峨隆編 日本に現存する中国アナキズム史料を初めて集大成。中国アナキズムは五四時期の革命思想の前衛的役割を果たした。中国近代史・中国近代思想史の再構築に必須の史料集。

■全12巻・別冊1（四六判・上製）／本体180,000円

戦後アナキズム運動資料

戦前・戦後のアナキズム運動の関係者の全面的な協力のもとに、戦後版『平民新聞』や雑誌等の基本資料を収録。戦後のアナキズム運動の全容解明・研究に不可欠な文献であり、唯一に資料。

■全8巻・別冊1（B5・B4判）／本体196,000円

芸艸会雑誌・図書館研究

橘会編・発行 本誌は、わが国初の図書館学校「図書館講習所」の機関誌で、当時の図書館学の学術雑誌として重要な役割を果たした。日本の図書館史研究の基本史料。・ケースの一部に色ヤケ・変色有り

■全7巻・別冊1（A5判・上製）／本体95,146円

一隅より／自由人

大正のアナキズム運動に多大な影響を与えた二誌。アナキズム系文芸・思想の研究に不可欠の資料。

■一隅より[加藤一夫雑誌] 自由人叢書1／全6冊（B5判・クロス装）／本体12,000円

■自由人[加藤一夫主宰] 自由人叢書2／全16冊／別冊1／別巻1（加藤一夫『震災日記』を収録、分売可6,000円）／（A5・B5判）／揃本体28,000円

矛盾

自由人叢書4 五十嵐幸太郎編 執筆者は石川三四郎、小川未明、新居格、秋山清、草野心平、高群逸枝と多彩。日本におけるアナキズムの文学・思想・運動全般にわたる研究の宝庫である。

■全8冊・別冊1（A5判・並製）／本体12,000円

虚無思想

自由人叢書5 吉行エイスケ（栄助）編 ニヒルを中心に、大正時代を表現した稀観雑誌。小川未明、稲垣足穂、辻潤、今東光、萩原朔太郎、宮島資夫など、錚々たる作家の初期作品を所収。

■全3冊・別冊1（A5判・並製）／本体15,000円

労働青年

自由人叢書9 久板卯之助編 民衆美術運動を創唱した先駆誌。また日本の初期社会運動史の実態を知る貴重な雑誌。執筆者は望月桂、山川均、江渡狄嶺、和田久太郎、小原慎二、岡野辰之介など。

■全1巻 [全7冊]（A5判・上製）／本体6,000円

近代婦人

神谷静子編 高群逸枝の『婦人戦線』、延島英一の『解放戦線』に本誌を加えたこの三種の文芸思想誌は、近代女性史、女性解放史、及び高群逸枝を取り巻く女性たちを語る上で不可欠な雑誌。

■全1巻 [全3冊]（A5判・上製）／本体12,000円

解放戦線

延島英一編 『婦人戦線』の姉妹雑誌。執筆者は加藤一夫、高群逸枝、犬田卯、井井すゑ子、江口隼人など。近代日本の文学・思想・労働・婦人、農民運動の流れを知る上で欠かせない貴重な資料。

■全5冊・別冊1（A5判・函入）／本体12,000円

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	掲載頁
日本統治期台湾文学小事典	中嶋利郎編		2005	20
日本統治期台湾文学台湾人作家作品集(全5巻・別巻1)	中嶋利郎・河原功他編		1998	19
日本統治期台湾文学日本人作家作品集(全5巻・別巻1)	中嶋利郎・河原功編		2008	18
日本統治期台湾文学文芸評論集(全5巻)	中嶋利郎・河原功・下村作次郎編		2001	20
日本報徳運動雑誌集成(全47巻・別巻1)			1994	42
二宮翁夜話(改版補注)	八木繁樹補注	報徳原典シリーズ1	1994	*
二宮先生語録(改版補注)	八木繁樹補注	報徳原典シリーズ2	1987	*
二宮尊徳道歌集	八木繁樹編著		1983	*
農村教育研究(全3巻・別冊1)	農村教育研究会編		1999	29
農民文学	山田多賀市編		1991	43

ハ

白山図書館学研究	岩瀬俊郎教授古稀記念論集刊行委員会編		2002	*
BC級戦犯関係資料集(全6巻)	田中宏已編		2012	37
一隅より(全6冊・別冊1)	加藤一夫編	自由人叢書1	1994	43
火の柱(全4巻)	イエスの友会編	賀川豊彦関係史料双書3	1990	40
秘 暴徒檄文集	琴兼洞編		1995	*
婦人戦線(全16冊)	無産婦人芸術聯盟編		1983	*
文献報国(全12巻)	朝鮮総督府図書館編	日本植民地文化運動資料5	1994	25
報徳運動100年のあゆみ(増補改訂版)	八木繁樹著		1987	*
北窗(全5巻・別冊)	満鉄哈爾濱図書館編	日本植民地文化運動資料2	1993	25

マ

満洲教育史論集	竹中憲一著		2019	*
「満洲国」の研究(新装版)	山本有造編		2014	15
「満洲」植民地中国人用教科書集成(全8巻)	竹中憲一編		2005	17
「満洲」植民地日本語教科書集成(全7巻)	竹中憲一編		2008	16
満洲読書新報(全2巻・別巻1)	満洲読書同好会編	日本植民地文化運動資料4	1993	25
満洲放送年鑑(全2巻)	満洲電信電話(株)編	日本植民地文化運動資料10	1997	25
「満洲」における反満抗日運動の研究	田中恒次郎著		1997	*
満洲民族資本の研究	風間秀人著		1993	*
夢幻のごとき	松本一郎著		2011	*
矛盾(全8冊・別冊1)	五十里幸太郎編	自由人叢書4	1988	43

ヤ

葉歩月作品集一	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成19	2003	21
葉歩月作品集二	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成20	2003	21
翼賛選挙	大室政右著		2004	*
吉野作造民主主義論集(全3巻)	新紀元社版		1979	*

ラ

陸軍軍法会議判例集(全4巻)	松本一郎編		2011	32
陸軍成規類聚 軍事秘密・別冊	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成2	2010	31
「陸軍成規類聚」研究資料	松本一郎編	「陸軍成規類聚」資料集成4	2009	31
陸軍成規類聚 昭和版(全7巻・別巻1)	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成1	2010	30
陸軍成規類聚 明治版(全3巻)	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成3	2011	31
理藩の友(全3巻)	台湾総督府警務局編		1993	*
ル・ジャンドル台湾紀行(全4巻)	我部政男・栗原純編		1998	23
歴史教育の転換と朝鮮史研究	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集57	2019	*
労働青年	久坂卯之助編	自由人叢書9	1990	43

ワ

鷺巣敦哉著作集(全5巻)	中嶋利郎・吉原丈司編		2000	22
鷺巣敦哉著作集(別巻)	中嶋利郎・吉原丈司編		2002	22
鷺巣敦哉著作集(補遺)	吉原丈司編		2014	22

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	掲載頁
『台湾日日新報』近代文学関係作品目録 昭和編	中嶋利郎・横路啓子編		2014	24
台湾文学研究の現在	台湾文学論集刊行委員会編		1999	*
台湾文学の諸相	伊咄之会編		1998	*
『台湾民報・台湾新民報』総合目録(全2巻)	中嶋利郎編		2000	29
臺灣六法 昭和九年版(改訂増補)	台湾日日新報社編		2000	24
地域からみた朝鮮植民地支配	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集56	2018	*
中国朝鮮族文学の歴史と展開	大村益夫著		2003	*
中国文化情報(全6巻・別冊1)	上海自然科学研究所編	日本植民地文化運動資料6	1994	25
朝鮮王朝と海域交流	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集51	2013	*
朝鮮近現代史における連続と転換	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集31	2003	*
朝鮮近代文学と日本	大村益夫著		2003	*
朝鮮現代史と在日朝鮮人	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集50	2012	*
朝鮮人虐殺関連官庁史料	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料2	1991	8
朝鮮人虐殺関連児童証言史料	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料1	1997	8
朝鮮人虐殺関連新聞報道史料(全4巻・別巻1)	山田昭次編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料5	2003	8
朝鮮人虐殺に関する植民地朝鮮の反応	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料4	1996	8
朝鮮人虐殺に関する知識人の反応(全2巻)	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料3	1996	8
朝鮮人強制動員韓国調査報告(全2巻)	龍田光司編	在日朝鮮人資料叢書13	2016	6
朝鮮人強制動員関係資料(全2巻)	山田昭次編	在日朝鮮人資料叢書5	2012	4
朝鮮史研究会会報 創刊号-100号(全3巻)	朝鮮史研究会編		2008	2
朝鮮史研究会論文集 第1集-第30集(全8巻)	朝鮮史研究会編		1994	1
朝鮮社会と仏教	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集53	2015	*
朝鮮上古史	申采浩著・矢部敦子訳		1983	*
朝鮮植民地化過程の再検討	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集44	2006	*
朝鮮女性史への視点	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集32	1994	*
朝鮮時論(全2巻・別冊1)	朝鮮時論社編	日本植民地文化運動資料9	1997	25
朝鮮総督諭告・訓示集成(全6巻・別冊1)	水野直樹編		2001	12
朝鮮都市論へのアプローチ	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集30	1992	*
朝鮮における宗教と国家	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集43	2005	*
朝鮮における地域社会と国家	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集37	1999	*
朝鮮にとっての「中国」	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集46	2008	*
朝鮮の領域観と自己認識	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集40	2002	*
朝鮮の歴史と現状	高麗社会科学研究会編		1988	*
朝鮮労務(全4巻・別冊1)	朝鮮労務協会編		2000	12
帝国の狭間に生きた日韓文学者	李修京著		2005	*
定本 報徳読本	八木繁樹著		1983	*
転換期における図書館の課題と歴史	石井敦先生古稀記念論集刊行会編		1995	*
道程—松本一郎著作集	松本一郎著		2014	*
同盟旬報目次総覧(全2巻)	同盟旬報社編		1998	35
特別支援・特別ニーズ教育の源流(全9巻・別巻1)	高橋智・前田博行・石川衣紀編	史料・日本近代と「弱者」1集	2010	28
途上国の経済発展と社会変動	石原享一他編		1997	*

ナ

「内鮮融和」美談の真実	金光烈著		2013	*
二・二六事件裁判原本資料(全2巻)	松本一郎編		2012	33
二・二六事件裁判の研究—軍法会議記録の総合的研究	松本一郎著		1999	*
21世紀の教育をひらく	佐藤広美編		2008	*
日朝関係史への新しい視点	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集41	2003	*
日本音曲全集(全15巻)	中内蝶二・田村西男編		1987	*
日本社会における朝鮮	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集45	2007	*
日本朝鮮研究所初期資料(全3巻)	井上学・樋口雄一編	在日朝鮮人資料叢書15	2017	6
日本統治期台湾文学研究序説	中嶋利郎著		2004	*
日本統治期台湾文学研究文獻目録	中嶋利郎・河原功・下村作次郎編		2000	20

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	掲載頁
『セチョソン』地方版(全2巻)	鄭栄桓編	在日朝鮮人資料叢書16	2017	6
戦後アナキズム運動資料(全8巻・別冊1)			1998	43
戦後初期在日朝鮮人人口調査資料集(全2巻)	長澤秀編	在日朝鮮人資料叢書3	2011	3
戦後日本における朝鮮史文献目録 1945-1991	朝鮮史研究会編		1994	*
戦後日本の朝鮮史学を振り返る	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集48	2010	*
戦時下強制連行極秘資料集 東日本篇(全4巻)	長澤秀編		1996	11
戦時下在日朝鮮人新聞資料 東亜新聞(全3巻)	外村大編		1997	12
戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集(全4巻)	長澤秀編		1992	11
戦時下朝鮮人労働動員基礎資料集(全5巻)	樋口雄一編		2000	12
戦時下朝鮮民衆の生活(全4巻)	樋口雄一編		2010	12
戦場日誌にみる従軍慰安婦極秘資料集	琴秉洞編		1992	*
戦前 教育科学運動史料(全2巻)	佐藤広美・高橋智編		1997	29
戦前 朝鮮人関係警察資料集一樺太庁警察部文書(全4巻)	長澤秀編		2006	9
総動員(全4巻・別冊1)	国民精神総動員朝鮮連盟編	日本植民地文化運動資料8	1996	25
総力戦体制と障害児保育論の形成	河合隆平著		2012	*

タ

大道一堀井梁歩パンフレット	米沢和一郎編		1991	43
大日本消防協会雑誌(全7巻・別冊1)	大日本消防協会編		2013	41
太平洋戦争開戦前史一開戦迄の攻略戦略	第二復員局残務処理部編		2001	36
太平洋戦争放送宣伝資料(全4巻)	北山節郎編		1997	35
太平洋戦争メディア資料(全2巻)	北山節郎編		1998	34
太平洋戦争メディア資料(続)(全2巻)	北山節郎編		2005	*
『台法月報』総目録	中島利郎・宋宜静編		1999	24
台湾漢文通俗小説集一	黄英哲編	日本統治期台湾文学集成24	2007	21
台湾漢文通俗小説集二	黄美娥・黄英哲編	日本統治期台湾文学集成25	2007	21
台湾戯曲・脚本集一	河原功編	日本統治期台湾文学集成10	2003	21
台湾戯曲・脚本集二	河原功編	日本統治期台湾文学集成11	2003	21
台湾戯曲・脚本集三	河原功編	日本統治期台湾文学集成12	2003	21
台湾戯曲・脚本集四	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成13	2003	21
台湾戯曲・脚本集五	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成14	2003	21
台湾近現代史研究(全2巻)	台湾近現代史研究会編		1993	*
『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録	中島利郎・林原文子編		1998	24
台湾高地先住民の歴史人類学	中村勝著		2003	*
台湾詩集	河原功編	日本統治期台湾文学集成18	2003	21
『台湾時報』総目録	中島利郎編		1997	*
台湾純文学集一	星名宏修編	日本統治期台湾文学集成5	2002	21
台湾純文学集二	星名宏修・中島利郎編	日本統治期台湾文学集成6	2002	21
「台湾新報・青年版」作品集	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成23	2007	21
台湾総督府警察沿革誌(全5巻)	台湾総督府警務局編		1986	*
台湾大年表	台湾経世新報社編		1992	24
台湾日誌	台湾総督府編		1992	24
台湾短篇小説集	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成4	2002	21
台湾長篇小説集一	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成1	2002	21
台湾長篇小説集二	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成2	2002	21
台湾長篇小説集三	河原功編	日本統治期台湾文学集成3	2002	21
台湾随筆集一	河原功編	日本統治期台湾文学集成15	2003	21
台湾随筆集二	中島利郎・下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成16	2003	21
台湾随筆集三	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成17	2003	21
台湾通俗文学集一	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成7	2002	21
台湾通俗文学集二	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成8	2002	21
「台湾鉄道」作品集一	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成21	2007	21
「台湾鉄道」作品集二	中島利郎編	日本統治期台湾文学集成22	2007	21

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	掲載頁
系図文献資料総覧(増補改訂)	丸山浩一編		1992	*
原水爆禁止運動資料集 1954-57 (全4巻)	小林徹編		1996	38
原水爆禁止運動資料集 1958-60 (全3巻)	小林徹編		1996	38
原典 中国アナキズム史料集成(全12巻・別冊1)	坂井洋史・嵯峨隆編		1994	43
興亜教育(全8巻・別冊1)	東亜教育協会編		2000	26
航跡―飯畑正男著作集	飯畑正男著		2015	*
国語創造(全2巻・別冊1)	志垣寛主宰		1999	29
国民精神総動員(全2巻)	国民精神総動員中央連盟編		1994	43
国民文学(全12巻・別冊1)	人文社編	日本植民地文化運動資料11	1997	25
「古代朝鮮」という歴史空間	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集39	2001	*
呉濁流作品集	河原功編	日本統治期台湾文学集成30	2007	21
「呉鳳」関係資料集一	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成26	2007	21
「呉鳳」関係資料集二	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成27	2007	21

サ

再考・近世朝鮮の対清関係	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集55	2017	*
在日朝鮮警察関係資料(全3巻)	福井讓編	在日朝鮮人資料叢書7	2013	4
在日朝鮮女性作品集(全2巻)	宋恵媛編	在日朝鮮人資料叢書9	2014	5
在日朝鮮人教育関係資料(全3巻)	佐野通夫編	在日朝鮮人資料叢書4	2012	3
在日朝鮮人国勢調査資料(全2巻)	木村健二編	在日朝鮮人資料叢書18	2019	7
在日朝鮮人史研究 創刊号～第20号(全4巻)	在日朝鮮人運動史研究会編		1996	1
在日朝鮮人史資料集(全2巻)	在日朝鮮人運動史研究会編	在日朝鮮人資料叢書1	2011	3
在日朝鮮人社会の歴史的研究	外村大著		2007	*
在日朝鮮人商工便覧(1957年版)	在日本朝鮮人商工連合会編	在日朝鮮人資料叢書2	2011	3
在日朝鮮人生活保護資料(全12巻)	金耿早編	在日朝鮮人資料叢書8	2013	4
在日朝鮮人文学資料集(全3巻)	宋恵媛編	在日朝鮮人資料叢書14	2016	6
在日朝鮮人留学生資料(全3巻)	裴始美編	在日朝鮮人資料叢書6	2012	4
在日朝鮮人に関する総合調査研究	朴在一著		1979	*
在日朝鮮人の「帰国」政策	鈴木久美著		2017	*
在日朝鮮文学会関係資料集(全3巻)	宇野田尚哉編	在日朝鮮人資料叢書17	2018	7
「サヨンの鐘」関係資料集	下村作次郎編	日本統治期台湾文学集成28	2007	21
「山岳」総合索引 1905-1990	日本山岳会編		1992	*
詩人 尹東柱への旅	宇治郷毅著		1998	*
社会福祉事業論稿	谷川貞夫著		1983	*
周金波日本語作品集	中島利郎・黄英哲編		1998	*
周金波日本語作品集 第二集	中島利郎・莫素微編		2013	*
自由人(全16冊・別冊1・別巻『震災日記』)	加藤一夫主宰	自由人叢書2	1994	43
首都圏 電話情報	東京情報処理研究会編		1984	*
収書月報(全8巻・別冊1)	満鉄奉天図書館編	日本植民地文化運動資料3	1993	25
旬刊台新(全2巻・別冊1)	台湾新報社編	日本植民地文化運動資料12	1999	25
昭和六・七年事変海軍戦史(全4巻・別巻1)	海軍軍令部編		2001	36
女学雑誌総目録	緑蔭書房編		1983	*
植民地朝鮮と日本の帝国支配	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集38	2000	*
植民地朝鮮の民衆運動	大和和明著		1994	*
書香(全8巻・別冊1)	満鉄大連図書館編	日本植民地文化運動資料1	1992	25
職事情情(全3巻)	新紀元社版		1980	*
資料 雑誌にみる近代日本の朝鮮認識(全5巻)	琴秉洞編		1999	10
資料 新聞社説に見る朝鮮(全6巻・別冊1)	北原スズ子・園部裕之・吉野誠他編		1995	10
資料 日本の戦後教育改革(全5巻)	佐藤広美編		1998	29
資料 メディアの中の在日朝鮮人	外村大・韓戴香・羅京洙編	在日朝鮮人資料叢書11	2015	5
清代史研究	石橋秀雄著		1989	*
世界國家(全7巻)	国際平和協会編	賀川豊彦関係史料双書4	1991	40
関口隆吉の生涯	八木繁樹著		1998	*

書名索引

* 印は本書未掲載書籍

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	掲載頁
ア				
貴女いい生活してるんだって	こだわりつづける女編		1984	*
生きぬいた証に	立教大学史学科山田ゼミ編		1989	*
池田敏雄台湾民俗著作集(全2巻)	末成道男編		2003	*
芸艸会雑誌・図書館研究(全7巻・別冊1)	橘会編		1988	43
オーストラリア国立戦争記念館所蔵旧陸海軍資料目録	田中宏巳編		2000	36
王昶雄作品集	河原功編	日本統治期台湾文学集成29	2007	21
カ				
解放戦線(全5冊・別冊1)	延島英一編		1988	43
「解放50年」―朝鮮の分断と統一	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集34	1996	*
解放と分断を問い直す	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集47	2009	*
開港前後期 模索する朝鮮	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集54	2016	*
学問から視る朝鮮近代	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集42	2004	*
回想 昭和時代一元陸軍幼年学校生徒の座談会	松本一郎編		2012	*
賀川豊彦研究序説	小南浩一著		2010	*
賀川豊彦初期史料集	布川弘・米沢和一郎編	賀川豊彦関係史料双書5	1991	40
賀川ハル史料集(全3巻)	三原容子編		2009	39
神の國新聞(全10巻・補巻1・別巻1)		賀川豊彦関係史料双書2	1990	40
家庭雑誌総目録	緑蔭書房編		1983	*
神奈川朝鮮学校資料(全2巻)	大石忠雄編	在日朝鮮人資料叢書12	2015	5
華南民族史研究	谷口房男著		1997	*
華南民族史研究(続)	谷口房男著		2006	*
「韓国併合」植民地支配、そして現在	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集49	2011	*
鑑賞文選・綴方讀本(全16巻・別巻1)	中内敏夫監修		2006	27
関東大震災朝鮮人虐殺裁判資料(全2巻)	山田昭次編	在日朝鮮人資料叢書10	2014	5
『韓国的民主主義』批判	尹秀吉著		1984	*
企業の担当者が書いたメンタルヘルス職場事例集	精神衛生普及会編	緑蔭新書1	1989	*
希望の経済	松尾野裕著		2019	*
教育科学(全4巻・別冊1)	教育科学研究会編		2000	29
教育新聞(全71号合本)	志垣寛主宰		1999	29
共済事業の源流をたずねて	和田武広著		2019	*
虚無思想(全3冊・別冊1)	吉行エイスケ編	自由人叢書5	1989	43
協和運動(全20巻・別冊1)	満洲帝国協和会編	日本植民地文化運動資料7	1995	25
協和会関係資料集(増補新版・全5巻)	樋口雄一編		1995	*
金玉均と日本(増補新版)	琴秉洞著		2001	*
近現代朝鮮における「戸籍」と境界	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集52	2014	*
銀行局報告(全49巻)		財政金融史料集成1	1985	*
銀行総覧(全49巻)		財政金融史料集成3	1986	*
銀行便覧(全5巻)		財政金融史料集成2	1985	*
金鐘漢全集	藤石貴代・大村益夫他編		2005	*
近代朝鮮社会事業史研究	慎英弘著		1984	*
近代朝鮮文学日本語作品集1939-45 創作篇	大村益夫・布袋敏博編		2001	13
近代朝鮮文学日本語作品集1939-45 評論・随筆篇	大村益夫・布袋敏博編		2002	13
近代朝鮮文学日本語作品集1901-38 創作篇	大村益夫・布袋敏博編		2004	13
近代朝鮮文学日本語作品集1901-38 評論・随筆篇	大村益夫・布袋敏博編		2004	13
近代朝鮮文学日本語作品集1908-45 セレクション	大村益夫・布袋敏博編		2008	13
近代日本人の朝鮮認識の関する研究文献目録	岡部裕之編		1996	*
近代日本のアジア認識	古屋哲夫編		2001	14
近代婦人(全3冊合本)	神谷静子編		1991	43
雲の柱―賀川豊彦個人雑誌(全19巻・別冊1)	雲柱社編	賀川豊彦関係史料双書1	1989	40

